

平成30年度

主要施策の成果に関する調書

PR・観光戦略部



# 目 次

<b>9 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現</b> .....	1
(1) 国内外における戦略的なPRの展開.....	1
① ICT等を活用したPRの展開.....	1
② オール鹿児島によるPRの展開.....	2
(2) 観光維新 鹿児島の創造.....	11
① 魅力のある癒やしの観光地の形成.....	11
② 戦略的な誘客の展開.....	14
(3) かごしまの「食」などの国内外マーケットへの戦略的な展開.....	36
① 海外展開に対する支援の充実・強化.....	36
(4) 国際化と多文化共生の実現.....	40
① 交流会議等を核とした国際交流の充実.....	40
② 日本人と外国人が共生する地域づくり.....	47
(5) 「鹿児島のウェルネス」のブランド化と交流の促進.....	48
① 「鹿児島のウェルネス」を活用した誘客促進.....	48
<b>10 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興</b> .....	50
(1) イノベーションの創出と競争力のある産業の振興.....	50
① 地域特性を生かした産業の振興.....	50
<b>13 県政情報を分かりやすく提供できる広報活動の実施</b> .....	56
(1) 積極的かつ効果的な県政広報・広聴の展開.....	56
① 広報広聴活動.....	56



## 9 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現

### (1) 国内外における戦略的なPRの展開

#### ① ICT等を活用したPRの展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
中小企業振興費	17,870	8,645	—	9,225	17,725	8,610	—	9,115
内訳 戦略的プロモーション展開事業	17,870	8,645	—	9,225	17,725	8,610	—	9,115

#### (1) 戦略的プロモーション展開事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

##### <1> 施策の目的

新たなPR戦略に基づき、効果的な情報発信を積極的に実施することにより、本県の認知度向上及びイメージアップを図る。

##### <2> 施策の実施状況・成果等

##### ア 「どんどん鹿児島 大キャンペーン」の実施

##### (ア) 「どんどん鹿児島ジェット」の展開

航空会社スカイマークとのコラボレーション「どんどん鹿児島ジェット」を運航し、鹿児島島の魅力をPRした。

実施日：平成30年10月9日～平成31年3月31日

主な内容：

- ・ 機内シートのヘッドレストカバーや客室乗務員のエプロンに「本場大島紬」を使用
- ・ 本県PR動画を専用タブレットで視聴できるサービスの提供
- ・ 県産のお茶やお菓子の無料配付等

運航路線：特別機（1機）がスカイマークの全21路線を運航

運航便数：882便（5～6便/日）

乗客数：約125,000人

##### (イ) 「どんどん鹿児島インスタグラム大キャンペーン」の実施

インスタグラムを活用し、一般の方から投稿された鹿児島島の様々な写真を広く紹介・拡散することにより、鹿児島島の多彩な魅力を発信した。

実施日：平成30年10月9日～平成31年2月28日

「#どんどん鹿児島」投稿数：13,175件

##### イ 「まるごとかごしま学」の制作

鹿児島島の魅力を集約したパンフレット「まるごとかごしま学」（改訂版）を制作した。

部数：5,000部

規格：A5判16頁、オールカラー

##### ウ 新キャッチコピーを活用したPR資材の制作

各種イベント等で使用する幟旗やノベルティを制作した。

②オール鹿児島によるPRの展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
政 策 総 務 費	123,793	46,564	—	77,229	122,834	46,314	—	76,520
内 訳 明治維新150周年記念 事業	123,793	46,564	—	77,229	122,834	46,314	—	76,520
企 画 総 務 費	2,150	610	—	1,540	1,672	448	—	1,224
内 訳 薩摩大使委嘱活用事業	2,150	610	—	1,540	1,672	448	—	1,224
中 小 企 業 振 興 費	73,906	12,003	—	61,903	72,579	11,804	—	60,775
内 特産品総合振興対策事業	24,744	—	—	24,744	24,744	—	—	24,744
かごしま食の大交流会 開催事業	12,832	5,937	—	6,895	12,464	5,937	—	6,527
鹿児島県産品等セール ス推進事業	33,148	5,076	—	28,072	32,246	4,877	—	27,369
内 訳 かごしま遊楽館関連事業	3,182	990	—	2,192	3,125	990	—	2,135
計	199,849	59,177	—	140,672	197,085	58,566	—	138,519

(1) 明治維新150周年記念事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

ア 明治維新150周年記念シンポジウム等開催事業

明治維新という時代の大きな変革期における郷土の先人たちの志や偉業を見直し、明治維新の意義を改めて考える契機とするため、県民を対象とした学識経験者によるシンポジウムを開催する。

イ 明治維新150周年若手研究者育成事業

県内外の若手研究者に対し、研究経費を助成することで、明治維新期の薩摩藩（鹿児島）に関する研究の深化を図るとともに、論文・研究成果発表等を通じ、研究者や県民にも還元することで、明治維新研究の更なる活性化を図る。

ウ 明治維新150周年記念プロジェクト推進事業

明治維新150周年を記念して、鹿児島ならではの魅力を広く県内外に発信する各種プロモーションやイベント等の様々な取組（かごしま明治維新博）を展開・推進することにより、鹿児島の活性化を図る。

エ 明治維新150周年次世代継承推進事業

明治維新150周年を契機として、次世代を担う若者が郷土の先人たちの志や行動力に想いを馳せ、今後の在り方などを考えるための各種の取組を実施する。

オ 明治150年記念式典開催事業

明治維新150周年に当たり、明治維新の意義やその後の近代化の歩みを再認識し、後世に継承する機会とするとともに、鹿児島ならではの歴史・文化等の魅力を広く県内外に情報発信するため、記念式典並びに関連イベントを実施する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 明治維新150周年記念シンポジウム等開催事業

(ア) シンポジウムの開催実績

年度	会場	実施日	場所	来場者数
H28	鹿児島会場	平成28年10月22日	鹿児島市民文化ホール	約630人
	大隅会場	平成28年11月6日	リナシティかのや	約340人
H29	鹿児島会場	平成29年9月30日	鹿児島市民文化ホール	約650人
	北薩会場	平成29年11月19日	川内文化ホール	約1,000人
H30	鹿児島会場	平成30年10月8日	鹿児島市民文化ホール	約900人
	始良・伊佐会場	平成30年10月13日	霧島市民会館	約600人

イ 明治維新150周年若手研究者育成事業

(ア) 若手研究者育成事業実績

年度	応募者数	対象者数	助成額
H28	18人	3人	1,361千円
H29	13人	3人	1,473千円
H30	17人	3人	1,490千円

(イ) 明治維新150周年若手研究者育成事業研究成果発表会

年度	実施日	場所	来場者数
H28	平成29年3月20日	鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂	約315人
H29	平成30年3月10日	鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂	約210人
H30	平成31年2月2日	かごしま県民交流センター 県民ホール	約500人

ウ 明治維新150周年記念プロジェクト推進事業

(ア) 明治維新150周年記念 秋の祭典

a 薩長土肥同盟締結式

実施日 平成30年11月18日

場所 仙巖園（御殿）

b 明治維新150周年記念パレード

実施日 平成30年11月18日

場所 高見馬場交差点～「若き薩摩の群像」前

参加者 約500人

c 秋の祭典

実施日 平成30年11月18日

場所 鹿児島中央駅AMU広場，駅前広場

主な内容

- ・ 薩長土肥連携イベント
- ・ 全国西郷1グランプリ決勝大会
- ・ 維新マーケット
- ・ 維新ワークショップ 等

来場者数 約15,000人

(イ) 全国西郷1グランプリ

明治維新150周年を契機とした全国的なプロモーション事業として、西郷隆盛そっくりさんNo.1を決定する「全国西郷1グランプリ」を開催した。

a 全国Web予選

応募期間 平成30年8月3日～10月1日

応募総数 232人(27都道府県)

決勝進出者 10人

b 鹿児島地方大会

- ・ 鹿児島市 おはら祭り
- ・ いちき串木野市 新酒まつり等 県内5イベント

c 決勝大会

実施日 平成30年11月18日

場所 鹿児島中央駅AMU広場(秋の祭典内で実施)

審査項目 「そっくり度」・「知識」・「体力」の3分野

(ウ) イベント等でのブース出展PR

実施日	場所	主な内容
平成30年5月3日～6日	砂丘の杜きんぼう	吹上浜砂の祭典
平成30年5月5日～6日	鹿児島中央駅AMU広場	かごしま風土ピア
平成30年7月21日	知覧まち商店街	知覧ねぶた祭
平成30年7月21日～22日	幕末維新記念館広場(佐賀市)	「肥前さが幕末維新博」鹿児島の日
平成30年9月15日	松坂屋上野店	九州物産展
平成30年9月16日	かごしま県民交流センター	鹿児島純心短期大学江角学びの交流センター文化講演会
平成30年9月29日	カナダプレイス輸入住宅総合展示場	「Re:JAPAN×CANADA」29肉まつり
平成30年10月7日～8日	桜島溶岩グラウンド	THE GREAT SATSUMANIAN FESTIVAL 2018
平成30年10月20日～21日	かごしま県民交流センター	かごしま木材まつり
平成30年10月28日	知覧平和公園	小京都ふるさと祭り
平成30年11月4日	日置北部公設卸売市場(いちき串木野市)	地かえて祭り

(エ) 「かごしま明治維新博」活性化推進事業

「かごしま明治維新博」の取組を大きく展開させるとともに、明治維新150周年終了後の取組の更なる発展につなげることを目的として、民間団体等が実施するイベント等の経費を助成した。

番号	団体名	事業名
1	商工会議所青年部連合会	薩長土肥一會桑の維新・戊辰150周年記念事業
2	かごしま春祭大ハンヤ振興会	明治維新150年記念かごしま春祭大ハンヤ2018
3	大隅の國やっちく松山藩	明治維新150周年記念企画やっちく秋の陣まつり
4	妙円寺詣りフェスタ実行委員会	「原点回帰」～戦国惟新から明治維新へ～(妙円寺詣りフェスタ)
5	吉野兵六会	西郷さんとともに生きた偉人たち～西郷さんの足跡を深める～
6	南さつま市観光協会	郷中教育の礎を活かした体験型観光造成による観光プロモーション



(ウ) 「明治維新150周年記念プロジェクト実行委員会」の開催

オール鹿児島で官民一体となって取組を進めるため「明治維新150周年記念プロジェクト実行委員会」総会を開催した。

a 委員：県や観光業，経済団体など48の団体や企業等の代表

b 概要

総会	実施日	議題等
第4回	平成30年4月16日	H29年度事業実績・収支決算，H30年度事業計画・収支予算等
第5回	平成31年3月22日	H30年度事業実績・収支決算見込み，実行委員会の解散について

エ 明治維新150周年次世代継承推進事業

(ア) 「維新の学び」キャラバン

幕末・維新の歴史や郷土の先人たちの志や鹿児島の歩みなどについて楽しく学ぶ訪問講座を実施した。

実施日	場所	主な内容
平成30年7月17日	阿久根市立脇本小学校	寺島宗則ってどんな人
平成30年9月19日	鹿児島市立名山小学校	鶴丸城のひみつ
平成30年9月27日	西之表市立下西小学校	松寿院ってどんな人
平成30年10月16日	南九州市立穎娃小学校	鹿児島の農業を発展させた「仲覚兵衛」
平成30年10月19日	南九州市立宮脇小学校	鹿児島の農業を発展させた「仲覚兵衛」
平成30年10月26日	鹿児島市立田上小学校	西郷隆盛と明治維新
平成30年11月2日	南さつま市立加世田小学校	明治維新と薩摩の学び
平成30年11月5日	日置市立伊作小学校	※地域が育む「鹿児島の教育」県民週間
平成30年11月28日	いちき串木野市立羽島小学校	薩摩藩英国留学生と羽島
平成30年11月29日	肝付町立国見小学校	明治維新と大隅の人々のくらし
平成30年12月10日	和泊町立国頭小学校	沖永良部と明治維新
平成30年12月11日	和泊町立和泊小学校	沖永良部と明治維新
平成30年12月19日	薩摩川内市立手打小学校	明治維新と甕島
平成30年12月20日	薩摩川内市立長浜小学校	明治維新と甕島

(イ) 明治維新150周年記念薩摩スチューデント派遣事業

県内の高校生を英国に派遣し，薩摩藩英国留学生の足跡をたどりながら交流等を行った。

派遣先 英国（ロンドン・カムデン区，マンチェスター市等）

派遣日程 平成30年7月28日～8月6日

派遣人員 15名（引率者含め19名）

活動内容

- ・ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）訪問
- ・留学生足跡訪問，関係機関表敬訪問
- ・英国青少年との交流，ホームステイ 等

(ロ) 明治維新150周年記念「維新未来博」作文コンクール

郷土の先人たちの志や行動力，現在に至る郷土の歩みを学び，今後の自らの将来，鹿児島の進むべき方向性や未来などを考える契機とするため，小・中学生を対象とした作文コンクールを実施した。

募集期間 平成30年9月10日～12月3日

応募総数 小学生の部 119校 1,067作品 / 中学生の部 44校 354作品

表彰式 平成31年2月3日 維新未来博

(エ) 明治維新150周年記念「維新未来博」テーマ研究発表

明治維新に関するテーマに沿って、高校生が、郷土の歴史等の調査・研究を行い、その成果を踏まえて、地域おこしや観光等に関する提案や実践を行った。

参加校 10高校11グループ

事前学習講座

・実施日 平成30年8月17日

・内容 研究を進めるに当たっての基礎となる講義やグループワークを実施した。

表彰式 平成31年2月3日 維新未来博

区分	学校名	研究テーマ
最優秀賞	古仁屋高等学校	日本スイーツの聖地～よみがえる奄美大島白糖製造工場～
優秀賞	大口高等学校	曾木の滝と明治維新 ～伊佐地方の川内川開発による殖産興業政策について～
	沖永良部高等学校	「西郷どん」体験in沖永良部
奨励賞	鶴丸高等学校	家老が創った明治維新～鹿児島に残るリーダーたちの足跡～
	甲南高等学校①	明治技術の活用
	甲南高等学校②	明治×鹿児島～郷土の暮らしの変化～
	鹿児島玉龍高等学校	吉野町歴史観光推進の建白書
	志布志高等学校	フェリー「さんふらわあ」で知られざる志布志の歴史をPR!
	南大隅高等学校	観光客向けのウォーキングマップ作成
	大島高等学校	愛加那から紬ぐ「結いの心」
	与論高等学校	産業の近代化と与論～日本の産業革命を支えたユンヌンチュの魂～

(オ) 維新未来博

明治維新150周年の集大成として、これまでの取組による成果等を発表する場を設けるとともに、郷土の先人たちの志を次世代に継承していく契機となるイベントを開催した。

実施日 平成31年2月3日

場 所 かがしま県民交流センター

参加・来場者数 約10,000人

主な内容

【ステージイベント】

- ・1,000人を超える子供たちの映像メッセージ
- ・各種コンクール表彰式
- ・作文コンクール優秀作品発表
- ・テーマ研究発表等入賞グループによる発表
- ・講演会（講師：齋藤孝氏）
- ・トークセッション（ゲスト：迫田孝也氏、宮野陽名氏）等

【展示イベント】

- ・作文コンクール応募作品展示
- ・テーマ研究成果展示
- ・クイズ! 「維新の学び」キャラバンがやってきた
- ・県内学校の「明治維新150周年の取組紹介」

【屋外イベント】

- ・高校生グルメマーケット
- ・Show-1グルメグランプリ ご当地鍋大会 等

(カ) 明治維新150周年記念タイムカプセル

明治維新150周年の取組の成果を次世代に引き継ぐため、知事と若い世代が書いた50年後の鹿児島へのメッセージ等をタイムカプセルに入れ、埋設し、上部に記念碑を設置した。

設置場所 県庁正面掲揚台花壇

主な内容

- ・ 県内の1園，19校の子供たちのメッセージ
- ・ 明治150年記念式典「県民決意のことば」
- ・ 維新未来博「作文コンクール」「高校生歴史テーマ研究」優秀作品
- ・ 維新未来博「各学校の明治維新150周年の取組」等

埋設セレモニー

- ・ 実施日 平成31年3月13日
- ・ 場所 県庁正面掲揚台花壇前
- ・ 参加者 メッセージ作成校の代表（保育園1園，小学校2校，中学校2校）

オ 明治150年記念式典開催事業

明治維新150周年に当たり，明治維新の意義やその後の近代化の歩みを再認識し，後世に継承する機会とするとともに，鹿児島ならではの歴史・文化等の魅力を広く県内外に情報発信するため，秋篠宮同妃両殿下の御臨席を賜り，記念式典を開催した。

また，関連イベントとして，記念フェスティバルを実施した。

(ア) 明治150年記念式典

実施日 平成30年5月25日

場所 県総合体育センター体育館

参加者数 約3,100人

主な内容

- ・ 県内小・中・高校生代表による県民決意のことば
- ・ 高校生による公開ディスカッション
- ・ 小中高校生によるプロローグ（管弦四重奏，合唱，創作オペラ）

(イ) 明治150年記念フェスティバル

実施日 平成30年5月26日

場所 県総合体育センター体育館

来場者数 約10,000人

主な内容

- ・ 薩長土肥県警音楽隊による「さきがけ維新ステージ」
- ・ 霧島九面太鼓の演舞
- ・ 里アンナ島唄ライブ 等

(2) 薩摩大使委嘱活用事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

本県の観光や特産品の県外への紹介，宣伝等本県のイメージアップに貢献できる方を薩摩大使として委嘱するとともに，それぞれの立場からの県政に対する提言や意見をいただき，県勢の発展を図る。

また，薩摩大使に県勢全般について理解を深めてもらうことを目的に，情報誌等を送付する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 薩摩大使の証，名刺，楯の作成配布

イ 情報誌等の送付（毎月1回）

ウ 年度別委嘱者数（人）

年 度	H28年度	H29年度	H30年度
新規委嘱者数	4	0	9
活動者数	377	210	206

※ 平成30年度に，13人の任期が終了したところ。

社会的地位及び人的ネットワーク，本県に対する貢献や，薩摩大使としての活動実績等から，16人の方を再委嘱した。

エ 各部局等の施策での大使の活用

愛場 美和（ロサンゼルスでの黒糖焼酎5社との焼酎PRを主宰：平成30年9月5日）

大島 有志生（新光三越（台湾）日本商品展での本県企業出展の仲介：平成30年10月26日～28日）

(3) 特産品総合振興対策事業（かごしまPR課）

〈1〉 施策の目的

大消費地での特産品の販路拡大と物産観光展の開催やブランドショップの運営など，特産品の総合的な振興を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 事業主体（公社）鹿児島県特産品協会

イ 事業内容

(ア) 物産観光展開催事業

阪神百貨店梅田本店など，県主催の物産観光展を5地区5回開催した。

百貨店名	場 所	日 程
阪神百貨店梅田本店	大阪府大阪市	平成30年4月4日～4月10日
東急百貨店札幌店	北海道札幌市	平成30年11月1日～11月6日
井筒屋小倉店	福岡県北九州市	平成31年1月9日～1月15日
東武百貨店池袋店	東京都豊島区	平成31年2月28日～3月5日
日本橋三越本店	東京都中央区	平成31年3月13日～3月18日

(イ) 販路拡大推進事業

小売店等への定番化や消費者ニーズに適応したモノづくりを推進するため，県内企業や関係団体と連携のもと，商談会や物産展等を展開し，商品に対する評価や販売方法等の情報収集及び提供に努めた。

(ウ) ブランドショップ展示管理費

工芸品企業や作家等と連携して，首都圏の消費者等に対し特産品を展示・紹介し，販路拡大に努めた。

(エ) 協会管理運営費

(4) かごしま食の大交流会開催事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

首都圏において，本県にゆかりのある方々等を招いて，本県が誇る農林水産物や特産品及び観光情報などを紹介宣伝することにより，参加者の鹿児島に対する理解を深め，鹿児島が生み出す一流品に関する情報を国内外に効果的に発信する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

和牛オリンピックで日本一となった鹿児島黒牛をはじめ、本県がトップブランドとして国内外に誇る農林水産物を使った料理や旬の観光情報等をPRすることにより、本県の魅力を「どんどん」発信した。

〔開催実績〕

日 程	会 場	参 加 者
平成29年 1 月31日	セルリアンタワー東急ホテル（東京都）	関東地区在住薩摩大使及び一般招待者（791人）
平成30年 1 月31日	セルリアンタワー東急ホテル（東京都）	関東地区在住薩摩大使及び一般招待者（918人）
平成31年 1 月31日	セルリアンタワー東急ホテル（東京都）	関東地区在住薩摩大使及び一般招待者（921人）

(5) 鹿児島県産品等セールス推進事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

ア トップセールス推進事業

国内外を問わず、知事が先頭に立って農林水産物の販売促進、観光宣伝、企業誘致等、鹿児島の売り込みを積極的に行い、本県が誇る農林水産物から先端産業まで、これらの産業のさらなる振興を図り、「新しい力強い鹿児島」を創る。

イ 「鹿児島の食」ブランド力UP事業

地域の優れた食材を扱う高級レストランのトップシェフや高級スーパーのバイヤー等に「鹿児島の食」を売り込み、フェア等を通じた活用を推進するなど「鹿児島の食」のブランド力UPを図る。

ウ 県産品の宣伝販売促進

「かごしま県産品宣伝販売促進活動方針」に基づき、百貨店や量販店、ホテルレストラン等において、各種フェア等を開催し、県産品の販路拡大等を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア トップセールス推進事業

国内外において、関係機関・団体と一体となったトップセールスの実施により、本県のイメージアップや県産品の販売促進を図った。

	H28年度	H29年度	H30年度
回 数	34回	70回	57回

イ 「鹿児島の食」ブランド力UP事業

以下の取組により「鹿児島の食」のブランド力UPを図った。

- (ア) トップシェフによる産地視察（11月）
- (イ) 東京都内での試食会の開催（2月）
- (ウ) 首都圏3店舗でのレストランフェアの開催（2月）
- (エ) 松屋銀座での「鹿児島の食」の開催（2月）
- (オ) テレビでの「鹿児島の食」PR（3月）

ウ 県産品の宣伝販売促進

百貨店等において鹿児島フェア等を開催した。

	H28年度	H29年度	H30年度
百貨店	12回	11回	11回
量販店	19回	15回	13回
レストラン	8回	25回	29回
その他	36回	40回	38回
合 計	75回	91回	91回

(6) かがしま遊楽館関連事業（かがしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

首都圏における物産や観光についての広報、宣伝、販売、展示等を行う総合的な情報の受発信拠点である「かがしま遊楽館」において、県産品のブランド確立と観光かごしまの魅力あるイメージづくりを推進する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

年間を通じた広告やイベントの開催等により、本県の農産物、加工食品、工芸品等や遊楽館のPRを行った。

ア イベントの開催

年度	イベント	実施日	実施内容
H28	21周年誕生祭	平成28年5月27日～30日	旬な農産物フェアや特産品販売など
H29	22周年誕生祭	平成29年5月27日～30日	〃
	来館1,000万人達成記念セレモニー、記念フェア	平成29年10月30日～11月1日	記念セレモニーの実施、特産品の謝恩価格販売など
H30	23周年誕生祭	平成30年6月2日～3日	旬な農産物フェアや特産品販売など
	かがしまフェアin遊楽館	平成30年9月16日、10月4日～6日、9日	明治維新150周年を記念した公開講座や野外散策講座、パネル展の開催
		平成31年2月16日	日比谷ゴジラスクエアでの鹿児島おはら祭り in かがしま遊楽館の実施

イ 新聞、雑誌や交通広告媒体等を活用した遊楽館の広報PR

## (2) 観光維新 鹿児島島の創造

### ① 魅力ある癒やしの観光地の形成

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
観光費	2,123,737	148,949	1,798,540	176,248	1,711,958	83,128	1,501,540	127,290
内訳	魅力ある観光地づくり	—	1,520,663	149,000	1,389,663	—	1,282,663	107,000
	奄美パーク管理事業	—	136,459	12,394	148,779	—	136,459	12,320
	奄美パーク改修等事業	305,221	148,949	141,418	173,516	83,128	82,418	7,970
計	2,123,737	148,949	1,798,540	176,248	1,711,958	83,128	1,501,540	127,290

※ 翌年度への繰越金 411,642千円

#### (1) 魅力ある観光地づくり事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

##### 〈1〉 施策の目的

本県を訪れる観光客の受入体制の充実を図るため、地域素材を生かしたにぎわい空間や体験空間の創出、沿道修景などの景観整備やわかりやすい案内標識の整備を行い「魅力ある観光地づくり」を推進する。

##### 〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 市町村等から寄せられた提案に基づき、地域の特性や資源を生かした個性的で潤いのある街並み景観やにぎわい空間等の創出に努めた。

(単位：千円)

地域名	整備箇所	工事費	委託費	事務費
鹿児島	鶴丸城跡保全整備（鹿児島市）	20,520	4,176	
南薩	西郷どん巡り拠点整備（指宿市）	104,912	7,220	
	内山田七不思議巡り整備（南さつま市）			
北薩	藤本の滝散策路整備（薩摩川内市）	113,240	800	
	出水戦跡巡り周辺整備（出水市）			
	出水麓武家屋敷群散策拠点整備（出水市）			
始良・伊佐	日当山温泉郷まち歩き拠点整備（霧島市）	190,509	6,646	
	丸尾の滝散策路整備（霧島市）			
	始良しおかぜ街道景観整備（始良市）			
	加治木まち歩き拠点整備（始良市）			
	曾木の滝周遊景観整備（伊佐市）			
大隅	垂水しおかぜ街道景観整備（垂水市）	369,561	5,114	
	鹿屋しおかぜ街道景観整備（鹿屋市）			
	神川七福神めぐり整備（錦江町）			
	雄川の滝周辺景観整備（南大隅町）			
熊毛	千尋の滝景観整備（屋久島町）	119,469	9,212	
	屋久島沿道景観整備（屋久島町）			
大島	西郷南州史跡周辺整備（龍郷町）	385,722	16,976	
	大和サンセットパーク景観整備（国直）（大和村）			
	井之川集落まち歩き拠点整備（徳之島町）			
	敬天愛人発祥の地周辺整備（和泊町）			
	ジッキョヌホー周辺整備（知名町）			
	与論島散策拠点整備（与論町）			
合計		1,303,933	50,144	17,836

イ 本県を訪れる観光客の受入体制の充実を図るため、外国語併記の観光案内標識や道路案内標識等の整備を行う。

工事費状況

(単位：千円)

～H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
992,000	8,000	9,000	—	40,000	65,727	65,860	18,345	17,750	1,216,682

案内標識設置状況

(単位：基)

種 別	～H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
観光案内板	35	—	—	—	—	—	1	1	37
観光案内標識 (かごしまロマン街道)	814	12	—	52	34	39	9	—	960
道路案内標識	997	4	—	3	7	6	2	10	1,029
合計	1,846	16	—	55	41	45	12	11	2,026

(2) 奄美パーク管理事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

奄美の自然や歴史・文化、産業等の特性を十分に生かした奄美群島全体の観光振興につながる情報発信拠点として、施設の運営管理や誘客対策、イベントの実施等企画事業を行う。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

奄美群島広域事務組合を指定管理者とし、奄美群島全体の情報発信拠点施設である「奄美の郷」及び「田中一村記念美術館」を中核とする奄美パークの管理運営を行った。

地元12市町村で組織する運営協議会を中心に、若手唄者等による「奄美の郷ライブステージ」や、奄美を描く美術展を開催するなど、年間を通して、奄美群島内外の方々に親しまれる施設となるよう各種のイベントを企画事業として開催したほか、誘客活動を行った。

【平成30年度の主なイベント開催状況】

イベントの名称	実施日(月)	参加人数	内 容
奄美の郷ライブステージ	5, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 2, 3月	約 3,600人	伝統文化や芸能（島唄、踊り、新民謡等）の発表
あまみっ子フェスタ	平成30年5月6日	約 600人	子どもの日にちなみ、子ども達を対象にしたイベントの開催
ネリヤカナヤフェスタ	平成30年7月16日 ～8月31日	約13,300人	オープニングイベント、自然写真家興克樹氏講演会や「親子手作り教室」等開催
サマーコンサート	平成30年8月26日	約 200人	島の文化や芸能を島内外に紹介
奄美パーク夏まつり	平成30年9月1日	約 400人	郷土芸能や地域で活動する団体の紹介等
フユウメコンサート	平成30年12月2日	約 200人	地元高校生や音楽家による演奏会等
奄美パーク春まつり	平成31年3月3日	約 400人	郷土芸能や地域で活動する団体の紹介等

【奄美パーク入館者】

(単位：人)

	奄美の郷	田中一村 記念美術館	合 計
H28年度	69,695	35,782	105,477
H29年度	74,778	43,556	118,334
H30年度	86,067	50,879	136,946



(3) 奄美パーク改修等事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

奄美群島の国内外からの観光客増加が見込まれていることから、展示内容の充実とともに、展示解説の多言語化を行い、奄美の美しい自然や多様な文化など、奄美群島の魅力発信の強化を図る。

また、施設の老朽化が進行していることから、改修・長寿命化対策を実施する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

- ・展示リニューアルに係る展示物製作を実施し、平成30年7月8日、リニューアルオープンした。
- ・井水設備の改修を行った。
- ・券売機の更新を行った。
- ・奄美の郷のインターネットセキュリティ機器の更新を行った。

② 戦略的な誘客の展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳			
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源	
観 光 費	563,958	146,218	—	417,740	561,861	145,975	—	415,886	
内 訳	観光かごしま大キャン ペーン推進事業	132,500	62,292	—	70,208	132,500	62,292	—	70,208
	国内誘客プロモーション事業	72,475	31,070	—	41,405	72,474	31,069	—	41,405
	観光振興対策事業	84,500	6,433	—	78,067	83,239	6,338	—	76,901
	「奄美・沖縄」観光・ 交流連携体制構築事業	6,400	4,800	—	1,600	6,400	4,800	—	1,600
	フィルムコミッション 活動支援事業	8,739	—	—	8,739	8,739	—	—	8,739
	観光サイト魅力アップ 事業	8,031	—	—	8,031	8,031	—	—	8,031
	海外誘客ステップアップ事業	122,418	35,276	—	87,142	122,415	35,275	—	87,140
	国際クルーズ船誘致促進 事業	16,838	6,347	—	10,491	16,230	6,201	—	10,029
	外国人観光客受入体制 整備事業	20,179	—	—	20,179	20,176	—	—	20,176
	九州観光共同推進事業	37,656	—	—	37,656	37,656	—	—	37,656
	観光かごしま活性化事業	6,054	—	—	6,054	6,054	—	—	6,054
	修学旅行等対策事業	1,200	—	—	1,200	1,200	—	—	1,200
	観光連盟補助事業	16,000	—	—	16,000	16,000	—	—	16,000
	観光動態調査事業	2,400	—	—	2,400	2,400	—	—	2,400
	鹿児島県観光入込客統計	5,666	—	—	5,666	5,601	—	—	5,601
国内観光広報宣伝事業	22,902	—	—	22,902	22,746	—	—	22,746	
計	563,958	146,218	—	417,740	561,861	145,975	—	415,886	

【参考】①目標値

項 目	区 分	基 準 年	目 標	現 状
		(H25年)	(H31年)	(H30年)
(1) 宿泊者数を増やす <sup>(注1)</sup>				
①	延べ宿泊者数	約7,323千人泊	9,500千人泊	8,865千人泊
②	①のうち、 外国人延べ宿泊者数	約215千人泊	430千人泊	831千人泊
(2) 観光客の満足度を高め、リピーターを増やす				
		(H25年度)	(H31年度)	(H30年度)
	観光客の満足度	9割	9割	9割

②本県観光客の推移

(単位：人泊)

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
延べ宿泊者数	7,534,490	7,972,730	7,202,190	7,986,670	8,864,320

※出典：観光庁「宿泊旅行統計」

※対象施設：全てのホテル・旅館・簡易宿泊所

(注1) 観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(暦年)の集計結果を目標の指標として設定

(1) 観光かごしま大キャンペーン推進事業(観光課) (地方創生関連事業)

〈1〉 施策の目的

本県を訪れる観光客の一層の増加を図るため、メディア、キャリア、エージェント等を活用した効果的なキャンペーン等を実施する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等(誘客対策)

広域連携による観光周遊ルートづくりをはじめ、主要観光地が持つブランド力のある観光資源を活かし、各種テーマ・エリアキャンペーン等の実施により県内各地へ拡がりのある誘客への取組を推進するため、明治維新150周年、大河ドラマ「西郷どん」の放送、世界自然遺産登録を目指す奄美地域のPRをメインに据えた戦略的な国内誘客プロモーションを展開するため、観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

ア 旅行需要を喚起する観光素材の創出

(7) 拠点地域(指宿・霧島・鹿児島)発の広域観光周遊ルートの整備

拠点観光地の旅館・ホテル発の観光周遊ルートを整備し、連泊・リピーターの拡大を図ることを目的に、拠点地区観光関係者等によるモニターツアー等を実施した。

年	実施日	実施主体	実施方面	参加者数
H28	平成28年6月1日	霧島地区観光関係者等	霧島・始良・伊佐・湧水方面	20名
	平成28年9月23日	日置地区観光関係者等	美山地区・日置方面	30名
	平成28年11月25日	鹿児島地区観光関係者等	鹿児島・桜島・垂水方面	44名
	平成28年11月18日	指宿・大隅地区観光関係者等	指宿・鹿屋・南大隅方面	42名
H29	平成29年6月28日	指宿地区観光関係者等	指宿方面	66名
	平成29年8月3日	大隅地区観光関係者等	指宿・大隅方面	13名
	平成29年10月25日	日置地区観光関係者等	美山地区・日置方面	34名
	平成29年10月26日	北薩地区観光関係者等	薩摩川内・阿久根・出水方面等	37名
	平成30年2月14日	始良地区観光関係者等	始良方面	16名
H30	平成30年12月14日	北薩地区観光関係者等	北薩方面	40名
	平成31年3月19日	始良地区観光関係者等	始良方面	25名

(イ) 本県温泉地の優位性を生かした温泉天国鹿児島島の確立

県内各地の温泉地の魅力PRのため、明治維新150年等と連携したPRを行い、県内外からの誘客に繋げた。

(ウ) 桜島七十七景眺望スポット巡りルート整備

県内外に桜島の魅力をアピールするために、H29年度に撮影を行った県内各地の桜島眺望スポットの画像を基にガイドブックの作成を行った。発行部数 3,000部(税込920円)

(エ) 霧島・奄美ロングトレイルコースづくり

ロングトレイルの先進地である国東半島の視察を行った。また、本県の栗野岳からえびの高原までの現地視察を行った。

(オ) 各地域の特性と魅力を活かした観光素材づくり

広報宣伝用ツールの作成及び広報宣伝用写真素材の収集、域内観光の促進を図った。

(カ) 離島を活用した誘客促進および観光素材づくり

パンフレット「鹿児島しま旅 離島ガイドブック」の全面改訂を実施した。作成部数10,000部

イ 戦略的な情報発信

(ア) 県観光ホームページ「かごしまの旅」を活用した情報発信の強化

季節ごとの観光情報を発信する特集ページのデザイン改訂・更新，明治維新150年を活かした観光情報発信の強化などを行い，閲覧者の利便性向上と効果的でタイムリーな情報発信を行った。

(イ) 地域の特性を活かす広報媒体の選択と効果的PR

a 全国放送番組タイアップ事業

フジテレビ系の長寿番組「サザエさん」オープニングで本県観光スポットの紹介を行い観光素材の広報宣伝を行った。

b 雑誌社等取材協力事業

雑誌社等の取材受入・協力を行った。

(受入・協力実績)

	H28年度	H29年度	H30年度
雑誌等	7誌	6誌	5誌

c 観光展等出展事業

各地で行われる観光展に出展し，鹿児島の情報発信を図った。

d SNSを活用した魅力発信事業

SNSで投稿したくなるようなインスタ映えスポットを伊佐市に整備することで同市への観光客誘致を行った。

ウ 効果的なプロモーション展開

(ア) 旅行エージェント・キャリア等と連携した誘客促進

a 旅行商品造成支援

旅行エージェントの本県離島への旅行商品及び拠点観光地以外の素材を使用した旅行商品造成における支援

	H28年度	H29年度	H30年度
助成件数	32件	35件	70件
送客実績	4,263人	8,024人	27,176人

b オフ期における貸切バス誘致支援

オフ期（6月～8月）（12月～2月）における貸切バス誘致支援

	H28年度	H29年度	H30年度
実績台数	68台	77台	85台

c 旅行エージェントが実施する社員や代理店を対象とした現地視察研修等に対して支援を行った。

(イ) 旅行エージェント・キャリアと連携したキャンペーン等の実施

旅行エージェントやキャリアが独自に行う大型キャンペーンで本県への集中送客が見込めるものとタイアップを行った。

(ウ) 観光関係団体等と連携した誘客促進

a 教育旅行受入対策協議会事業と連携したプロモーション

熊本地震の影響で，入り込みが落ち込んだ教育旅行について，山陽，関西以西からの再誘致のための連携を強化し，大阪府，兵庫県などの学校及び旅行会社へのセールスなどを行った。

b 九州観光推進機構と連携した誘客促進

九州への観光客誘致を目的とした九州観光推進機構とタイアップし本県への誘客活動を進めた。

c 各県観光連絡協議会等観光関係団体と連携した誘客促進

本県への誘客促進を行う観光関係団体等と連携し，誘客促進を図った。

d 姉妹盟約を締結した山口県観光連盟等と、明治維新150周年という節目の年を生かすため、更に連携を強化し、相互交流の促進を図った。

(エ) 風評被害等緊急対策

a 火山活動の変化が起きた際に正確な情報を迅速に発信し風評被害に対応できるよう、観光への影響範囲等を示した情報発信ツールを活用し、HP上で正確な情報発信を行った。

<3> 施策の実施状況・成果等（誘客拡大特別対策）

九州新幹線全線開業効果の拡大や主要観光地が持つブランド力のある観光資源を最大限に活かすため、県内全体へ拡がりのある誘客の取組を推進するとともに、明治維新150周年や平成30年の大河ドラマ「西郷どん」の放送効果を最大限に活かし、飛躍的な誘客促進を図るための各種事業を展開するため、観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

(実施主体「観光かごしま大キャンペーン推進協議会」の活動実績（一般事業を除く）)

ア 観光かごしま大キャンペーン推進事業（「西郷どん」キャンペーン事業）

(ア) 県内外への情報発信

a イベント等による情報発信

(a) パブリックビューイング

実施日	名称	場所	参加者
平成30年5月20日	大河ドラマ「西郷どん」奄美パブリックビューイング	奄美文化センター	1,200名
平成30年12月16日	大河ドラマ「西郷どん」最終回パブリックビューイング	鹿児島市民文化ホール	2,000名

(b) キャストトークショー

実施日	名称	場所	参加者
平成30年7月29日	西郷どんどん！かごま！キャストトークショー	宝山ホール	1,200名
平成30年10月20日	大河ドラマ「西郷どん」キャストトーク&コンサート	鹿屋市文化会館	920名

(c) イベントPR, 出展

実施日	店舗名・イベント名称など（会場）	都道府県	区分
平成30年4月28日 ～4月30日	鹿児島うまいもんフェア(ダイエーいちかわコルトンプラザ店)	千葉	量販店鹿児島フェア
平成30年4月28日 ～4月30日	西郷どん応援プロジェクトイベント(桜島SA, 宮原SA)	鹿児島, 熊本	交通拠点
平成30年5月16日 ～5月22日	九州の物産展(西武高槻店)	大阪	物産観光展
平成30年7月4日 ～7月9日	薩長土肥物産展(下関大丸百貨店)	山口	物産観光展
平成30年7月14日 ～7月16日	西郷どん応援プロジェクトイベント(桜島SA, 広川SA, 宮原SA)	鹿児島, 福岡, 熊本	交通拠点
平成30年7月21日 ～7月22日	肥前さが幕末維新博・鹿児島県の日(幕末維新記念館)	佐賀	その他
平成30年8月11日 ～8月12日	どんどん鹿児島フェスタinセントレア(中部国際空港)	愛知	交通拠点
平成30年9月22日	サッカーJ3リーグ「鹿児島ユナイテッドFC」VS「FC琉球」 (タビック県総ひやごんスタジアム)	沖縄	スポーツイベント
平成30年9月27日 ～11月18日	黎明館「西郷どん」展と連携した展示(歴史資料センター黎明館)	鹿児島	県施設
平成30年10月4日 ～10月31日	大河ドラマ「西郷どん」ロケ地パネル展と連携した展示(奄美パーク)	鹿児島	県施設

平成30年10月20日 ～10月21日	おおた商い観光展2018（大田区産業プラザ）	東京	その他
平成30年11月3日 ～11月4日	O T Aふれあいフェスタ（平和島公園ほか）	東京	その他
平成30年11月3日 ～11月30日	鹿児島県フェア（大田区観光情報センター）	東京	その他
平成30年11月10日	サッカーJ1リーグ「清水エスパルス」VS「名古屋グランパス」 （I A I スタジアム日本平）	静岡	スポーツ イベント
平成30年11月18日	明治維新150周年記念 秋の祭典（アミュ広場、鹿児島中央駅前広場）	鹿児島	その他
平成30年11月24日	サッカーJ1リーグ「ジュビロ磐田」VS「コンサドーレ札幌」 （ヤマハスタジアム）	静岡	スポーツ イベント
平成31年3月3日	第15回関西ごしまファンデー（京セラドーム大阪）	大阪	その他

b Web・アプリによる情報発信

(a) 「西郷どん」キャンペーン公式ウェブサイト等による情報発信

区分	実施日	アクセス数
公式ウェブサイト	平成29年4月28日 ～平成31年3月31日	累計408,579件 ※3月時点延べ閲覧数
公式フェイスブック	平成29年5月19日 ～平成31年3月29日	2,643人（3月時点） ※最高閲覧数15,724人
公式ツイッター	平成29年7月26日 ～平成31年3月29日	1,700人（3月時点） ※最高閲覧数77,196人
web版まちめぐりマップ	平成30年1月13日～	25,132回 ※ページビュー数90,092PV

c 広報・広告による情報発信

(a) 広報媒体

① 雑誌・新聞広告

実施日	媒体名	内容
平成30年5月25日	NHK大河ドラマ・ガイド西郷どん後編	ゆかりの地（離島編）
平成30年5月25日	T VガイドNHK大河ドラマ「西郷どん」完全ガイドブック	西郷どん村（霧島市）、 西郷隆盛と菊次郎展（龍郷町）
平成30年5月30日	NHK大河ドラマ「西郷どん」完全読本（続編）	ゆかりの地（離島編）
平成30年7月6日	歴史街道8月号	ゆかりの地（離島編）
平成30年9月1日	クラブナゴヤ10月号	期間限定スポット
平成30年9月1日	九州じゃらん10月号	ゆかりの温泉地マップ
平成30年9月6日	ことりっふマガジン（秋号）	ドラマ撮影地、 ゆかりの地（本土）
平成30年9月7日	九州秋ウォーカー	ドラマ撮影地、 期間限定スポット
平成30年9月25日	NHK大河ドラマ・ガイド西郷どん完結編	ゆかりの地（本土編）
平成30年10月25日	九州ウォーカー	ドラマ撮影地、 期間限定スポット
平成30年12月1日	週間「観光経済新聞」	大河ドラマ効果があった 観光地、新施設、魅力的 な交通アクセス

② パブリシティによる掲載

実施日	媒体名	内容
平成30年4月	九州マーケティング4月号	受入体制整備の紹介
平成30年9月20日	九州ウォーカー号外	ドラマ撮影地，期間限定スポット
平成31年3月15日	ロケーションジャパン4月号	西郷どんゆかりの地

③ 県政広報番組・広報誌

実施日	媒体名	内容	区分
平成30年3月24日 ～ 平成30年4月25日	FMかごしま：なるほど！かごしま MBC：むっちゃんの「いきいき鹿児島！」（ラジオスポット）	奄美PV観覧者募集告知	ラジオ
平成30年4月15日	南日本新聞，南海日日新聞 （新聞インフォメーション）	奄美PV観覧者募集告知	新聞
平成30年6月17日	南日本新聞，南海日日新聞 （新聞インフォメーション）	平成30年7月29日トーク ショー観覧者募集告知	新聞
平成30年7月2日	グラフかごしま7月号	平成30年7月29日トーク ショー観覧者募集告知， 西郷どん大河ドラマ館リ ニューアル情報	広報誌
平成31年1月28日	MBC：かごしま4	西郷どんB I N G Oスタ ンプラリー広報	テレビ
平成31年3月1日	グラフかごしま3月号	大河ドラマ「西郷どん」最 終回PV	広報誌
平成31年3月	「西郷どん」キャンペーン事業報告書	キャンペーン実績総括	報告書

④ 県作成パンフ等

掲載月	媒体名	内容
6月	かごしまの旅 （観光課発行パンフ）	西郷どんゆかりの地の紹介 （屋久島町，龍郷町，天城町，和泊町）
9月	かごしまの旅 （観光課発行パンフ）	西郷どんゆかりの地の紹介（鹿児島市編）， 大河ドラマ館情報（鹿児島市，指宿市）
12月	かごしまの旅 （観光課発行パンフ）	西郷どんB I N G Oスタンプラリー広報

(b) プロモーション

① 大田区等と連携した取組

項目	内容	実施日
イベントへの出展	大田商い観光展（大田区）	平成30年10月20日～21日
	大田ふれあいフェスタ（平和島）	平成30年11月3日～4日
東急電鉄等媒体を活用した プロモーション	ポスターやリーフレットの制作	平成30年7月～12月
	東急電鉄広報誌での広告掲載	
	ジャック電車の実施	
	大田区銭湯での壁絵広告 など	

② インフルエンサーを活用した取組

項目	内容	場所	実施日
霧島地区を中心とした誘客プロモーション	インフルエンサー4名を招聘し、霧島を中心として情報発信を実施。 ほか、インフルエンサー、地元観光関係者との意見交換会を実施。	霧島アートの森、霧島神宮 など	平成30年11月30日 ～ 平成30年12月1日
南薩地区、大隅地区を中心とした誘客プロモーション	インフルエンサー2名を招聘し、南薩地区、大隅地区を中心として情報発信を実施。 東京にてインフルエンサーも参加するイベントを開催（3月24日）。	雄川の滝、佐多岬、荒平天神 など	平成31年3月8日～10日

③ スタンプラリーの実施

実施日	内容	商品本数	応募者数
平成30年12月17日 ～令和元5月6日	ゆかりの地を含む県内観光地等を巡るスタンプラリーを実施。スタンプ設置箇所は県内85か所。	1回目 150本 2回目 150本 合計 300本	1回目 1,264名 2回目 1,889名 合計 3,153名

(c) 交通拠点施設への装飾

実施日	場所	内容
平成30年2月～12月	鹿児島空港国内線2階コンコース内 ほか5か所	看板広告
平成30年5月1日～31日 平成30年11月17日 ～12月16日	J R鹿児島中央駅 東口階段	ステップ広告
平成30年3月7日 ～12月27日	鹿児島市電停13電停25か所	市電到着案内メロディーとしてキャンペーンソングの一部を使用
平成30年6月25日 ～12月31日	鹿児島空港発リムジンバス車内	キャンペーンソングを活用した観光案内放送
平成30年8月1日 ～8月31日	NEXCO西日本サービスエリア 岡山・広島・大阪ブロック23か所 神戸・福岡ブロック3か所	テーブルステッカー掲出 デジタルサイネージ広告 リーフレット設置

(イ) 受入体制整備

a 広報宣伝素材の作成

「西郷どん」キャンペーンロゴマークやキャラクターイラストを使用した広報宣伝素材を作成し、効果的な広報宣伝活動を実施した。

(a) パンフレット等の作成

名称	部数	発行月
総合ガイドブック「西郷どん案内帖」（改訂版）	40,000	6月
特典付きフリーマガジン「特典どん！どん！西郷どん」（改訂版）	50,000	6月
観光アクティビティパンフレット「どん！どん！かごんま遊book」	30,000	7月
観光アクティビティパンフレット「どん！どん！かごんま遊book」（改訂版）	30,000	3月

(b) ノベルティの作成

品目	個数
うちわ	20,000枚
ウェットティッシュ	7,500個
クリアファイル	12,000枚
シャープペンシル	6,000本



## (c) ロゴマーク・キャラクターイラストの管理 (単位：件)

使用区分	延べ使用実績数		
	～H29	H30	累 計
印刷物(チラシ・新聞広告・パンフレット・名刺など)	641	283	924
看板・店舗壁面・商品POPなど	265	93	358
web上の使用	225	67	292
販促用の景品	51	17	68
販売用商品	304	66	370
その他	123	61	184
合 計	1,609	587	2,196

## b 旅行商品造成

大河ドラマ館や西郷どんゆかりの地を巡る旅行商品の造成等により，県外からの誘客を図った。

## 【旅行商品造成】

実 施 日	ツアー名等	催行人数
平成30年9月28日 (1本)	貸切新幹線さくら号で行く西郷隆盛ゆかりの地3日間(大阪発)	24人
平成30年8月21日 ～平成31年1月10日 (26本)	鹿児島一県をじっくりめぐる薩摩路紀行3日間(羽田発)	734人
平成31年3月8日 (1本)	あっぱれ！西郷どんゆかりの鹿児島・奄美ちょっと贅沢な2泊3日の旅(広島発)	25人
平成30年10月19日 平成30年11月16日	クルーズ船入港時におけるシャトルバスの運行 (対象船：コスタネオロマンチカ(イタリア船籍))	285人 540人
平成31年2月17日	おれんじ鉄道駅ウォーク	215人

## c ロケ支援等

## (a) 大河ドラマ「西郷どん」関係者との懇談会の開催

実施日：平成30年12月16日

場 所：鹿児島サンロイヤルホテル

内 容：NHK等との意見交換 など

参加者：30名

## (b) 第9回ロケーションジャパン大賞授賞式・レセプションへの出席

実施日：平成31年2月21日

場 所：都市センターホテル(東京都千代田区)

受 賞：優秀賞(地域の変化部門) 大河ドラマ「西郷どん」×鹿児島県

参加者：305名

## イ 観光かごしま大キャンペーン推進事業(重点戦略事業)

## (ア) テーマ性のある観光キャンペーン

## a 明治維新150周年カウントダウンキャンペーン

## (a) webサイト「明治維新と鹿児島みて歩き」の運営

## (b) 「Ishin150～第6弾・総合版～」パンフレットの作成

- ・ 内 容：明治維新関係事象を「ホームアンドアウェイ」で紹介するパンフレット。これまでに発行した「Ishin150」を統合した総合版となるパンフレットを作成

- ・ 部 数：5,000部

(c) 「平成の薩長土肥連合」の取組

- ・ 「志国高知 幕末維新博」第2弾開幕イベントin桂浜での観光PR
- ・ ANAタイアップ（羽田空港イベント、山口ゆめ花博における記念植樹）
- ・ 平成の薩長土肥連合情報発信会
- ・ 日本旅行 明治150年記念商品との連携
- ・ 「平成の薩長土肥連合」の取組スタンプラリーの実施
- ・ 薩長土肥トラベルノートの作製
- ・ 共同イベントの出展

b 重点地域を絞った集中的なエリアキャンペーン

(a) フォトコンテスト鹿児島2018「ふおとしま」（平成30年7月2日～9月30日）

県内の観光素材の露出及び掘り起こしを行うために、写真投稿アプリinstagramを活用して紹介するとともに、選考の上、賞品が当たるキャンペーンを実施。

投稿枚数：4,642枚（参加人数約1,400人）

年 度	H28年度	H29年度	H30年度
参加者数	3,500人	604人	約1,400人

※平成28年度は「スクープ！大隅」、平成29年度は奄美群島観光キャンペーン「ふおとしま」の実績

(b) 大隅誘客プロモーション事業（平成30年11月～平成31年1月）

大隅地域の認知度及び来訪意向向上のため、関西圏及び北部九州を中心に各種広告を展開し、大隅地域への誘客を図った。

(イ) 新幹線沿線からの効果的な誘客

a 「リメンバー九州キャンペーン」の展開（JR西日本）（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

九州5県（鹿児島・長崎・熊本・大分・佐賀）がJR西日本と連携し、女性グループ、シニア世代、家族連れをメインターゲットとしたキャンペーンの展開により、西日本エリアから九州5県への送客を図った。

送客実績：個人型781人泊、団体型15,308人泊 総計16,089人泊

b 「南九州カレッジ」の実施（JR西日本）

若年層の旅行意欲を喚起するため、鹿児島県、熊本県、宮崎県の南九州3県がJR西日本とタイアップし、関西エリア等の大学生が各地で様々な観光メニューを体験し、南九州3県の観光素材の磨き上げを行うとともに、南九州3県への修学旅行の素晴らしさを発見、情報発信した。

参加大学	関西大学、神戸松蔭女子学院大学、和歌山大学、流通科学大学、清泉女子大学
体験実習	平成30年9月4日～6日 鹿児島市、指宿市、南九州市、垂水市、南大隅町等
成果報告会	平成30年12月17日

c 旬の鹿児島共同キャンペーン（JR九州）の展開（平成30年10月1日～平成31年3月31日）

JR九州と連携し、九州新幹線及びD&S（デザイン&ストーリー）列車の利用促進を図り、鹿児島の新たな魅力を創出するキャンペーンを行い、本県への誘客促進を図った。

(ウ) 効果的なプロモーション展開

a 情報発信等

首都圏、関西、北部九州などにおいて、空港や鉄道の利用者などターゲットを絞った効果的な情報発信を実施し、本県への来訪意欲の向上を図った。

- b 県外事務所のネットワークを活用した情報発信  
 県外事務所において、地元業者とタイアップした「鹿児島ゆかりの地ツアー」の実施など、現地ならではのネットワークを活用した情報発信を実施した。
- c 本県への誘客が期待できる各種イベント等への出展  
 ツーリズムEXPOジャパンや九州観光推進機構大阪駅イベントなど各種イベントへ出展し、誘客促進を図った。

(2) 国内誘客プロモーション事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

交通キャリア（鉄道会社、航空会社、フェリー会社）と連携したプロモーション活動を行い、主要都市からの誘客を図る。

また、市場における観光需要を的確に把握し、今後の観光施策への活用につなげる。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア マーケティング調査

- (ア) 県内観光素材に対する認知度・興味度調査
- (イ) 来鹿経験者に対するwebアンケート調査
- (ウ) 携帯電話の基地局データを用いた観光客動態調査 など

イ 交通キャリアとタイアップしたプロモーション

(ア) J R西日本とのタイアップ

- a 関西地区でのポスター掲出・デジタルサイネージ掲出等  
 実施期間：平成31年1月～3月
- b テレビ番組放送  
 テレビ大阪「おとな旅あるき旅」放送日：平成31年1月  
 読売テレビ「クチコミ新発見！旅ぷら」放送日：平成31年1月27日

(イ) J R九州とのタイアップ

- a 北部九州地区でのポスター掲出・デジタルサイネージ掲出等  
 実施期間：平成31年1月～3月
- b テレビ番組でのPR  
 KBC「アサデス」放送日：平成31年1月22日

(ウ) ANAとのタイアップ

- a 機内誌「翼の王国」1月号
- b 羽田空港企画展（場所：羽田空港第2旅客ターミナル）  
 実施日：平成30年10月20日～28日

(エ) JALとのタイアップ

- a 機内誌「skyward」1月号
- b 国内線機内ビデオ放映  
 放映期間：平成31年2月

(オ) さんふらわあとのタイアップ

a 広告掲出

- ・雑誌「SAVVY」7月号、抜き刷り広告20,000部
- ・シネアド 関西圏主要映画館30秒CM（平成30年7月13日～8月9日、9月28日～10月25日）
- ・車輛掲載 JR東日本 総武横須賀線快速 窓上広告（平成30年7月9日～22日、10月22日～11月4日）  
北総鉄道 北総鉄道 ドア横広告（平成30年7月11日～10月10日）  
近鉄 大阪地区 全路線 中吊り広告（平成30年7月7日～9日、18日～19日、23日～24日、  
平成30年10月1日～2日、17日～18日、24日～25日）  
近鉄 けいはんな線 ドア横広告（平成30年8月1日～10月31日）  
JR東海 東海道本線、中央本線、関西本線 中吊り広告（平成30年4月～11月）

b イベント出展

平成30年10月12日～14日 京都国際映画祭 来場者44,040名  
PRステージ 20分間 集客563名

c TVコーナータイアップ

関西テレビ「NMBとまなぶくん」内コーナー  
放映日時：平成30年11月2日、11月9日（深夜1時15分～21分：約6分）

d 特設サイト改修 平成30年9月19日～公開

ウ 霧島誘客プロモーション

(ア) 大人の女性向け旅行電子雑誌「旅色」によるPR

a 電子雑誌「旅色」

読者数：100万人以上  
内容：タレントを活用した霧島1泊2日の旅行（霧島温泉市場、霧島アートの森等）

b SNSによる情報発信

内容：霧島1泊2日の旅行内容を写真投稿SNSを用いて情報発信  
掲載期間：平成30年11月26日～（1年間）

(イ) アニメコンテンツを活用したプロモーション

実施日：平成30年12月14日～平成31年3月10日

内容：アニメと連携した旅行商品の販売およびスタンプラリー、バスツアー（2月2日～3日）の実施等

(3) 観光振興対策事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

観光まごころ県民運動及び観光客の県内各地への誘客を図るための二次交通対策や着地型観光等の推進を図る。

<2> 施策の実施状況・成果等

ア 観光振興対策事業

観光かごしまのイメージアップと受入体制の充実を図るため、観光PRスタッフ研修会等を開催した。  
また、県民総ぐるみで観光客を温かく親切に迎える「観光まごころ県民運動」を幅広く展開するため、観光客からの鹿児島での旅の体験や意見等を募集する「観光まごころ体験だより」の募集チラシの配布や観光客に対して、まごころのこもったおもてなしを行った団体等に対する表彰などを行った。

(ア) 「かごしま観光アカデミーの開催状況」

名 称	実施主体	実 施 日	研修対象者の種別	開催地	出席者数
観光ボランティアガイド 研修会	(公社)鹿児島県観光連盟	平成30年8月28日	一般	鹿屋市	55名
		平成30年10月25日	一般	鹿児島市	99名
かごしま観光アカデミー	(公社)鹿児島県観光連盟	平成30年9月26日	一般	鹿児島市	185名
観光PRスタッフ研修会	(公社)鹿児島県観光連盟	平成30年11月12日	市町村の親善大使等	鹿児島市	31名
タクシー乗務員接遇研修会	(公社)鹿児島県観光連盟	平成31年2月27日	県内タクシー乗務員等	鹿児島市	185名

(イ) 「観光まごころ体験だより」の数

	H28年度	H29年度	H30年度
合 計	748	1,016	1,127
親 切 (割合)	698 (約9割)	953 (約9割)	1,067 (約9割)
苦情等	50	63	60

(ウ) 「観光まごころ県民運動」会長(県知事)表彰受賞者(表彰式:平成30年12月12日, 於:知事応接室)

受 賞 者 ( 団 体 等 )	
大隅の國やっちく松山藩	(志布志市)
湧水汽車会	(湧水町)
花と歴史の絶景ウォーク実行委員会	(阿久根市)
観光ボランティアガイド(かごでん)	(鹿児島市)
指宿市立指宿商業高等学校	(指宿市)
指宿海上ホテル株式会社	(指宿市)

イ らくらくかごしま巡り事業

観光客の県内各地への誘客を図るため、タクシー・レンタカー・バスの割引を実施し、交通費用の負担軽減を図り、県内の交通結節点等からの二次交通アクセスの向上に寄与し、本県の更なる観光振興を図った。

・ 補助実績

	H28年度	H29年度	H30年度
タクシー	1,129台	1,893台	2,958台
レンタカー	1,609台	6,108台	8,556台
バス	292台	463台	—
計	3,030台	8,464台	11,514台

※上表のうち、平成28年度、平成29年度のレンタカーは、レンタカー事業者型、旅行会社型の合計。

平成30年度のレンタカーは、レンタカー事業者型のみ。

ウ かごしま観光人材確保・定着支援事業

将来の観光かごしまを担う人材の確保や定着に向けた取組に対して支援を行い、本県観光業の人材の育成を促す。

(ア) スキルアップ研修支援

	H28年度	H29年度	H30年度
内容	・IT&インバウンド 研修会	・経営改善セミナー ・「西郷どん」研修会	・経営改善セミナー
開催回数	1回	4回	5回
参加者数	30人	97人	56人

(イ) 人材確保・定着支援

	H28年度	H29年度
内容	ホテル・旅館業向けパンフレット作成	訪日外国人向け接客マニュアル作成
作成部数	3,000部	500部

(4) 「奄美・沖縄」観光・交流連携体制構築事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

鹿児島・沖縄両県の連携によって域外からの観光客の一層に誘致を行い、両地域の観光振興を促進させる。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 共同プロモーション

	H28年度	H29年度	H30年度
イベント出展	2回	2回	2回
PRツールの制作	・パンフレットの増刷 (5,000部) ・パンフレット(外国語版)の作成(2,000部)	・動画制作(5種類) ・着地型パンフレット作成(10,000部)	・ノベルティ作成 マスキングテープ (200部) 巾着(260部) ボールペン(400本)
メディアタイアップ	トラベルカルチャー誌「TRANSIT」を発行 (15,000部)	キュレーションメディア「TABILABO」を活用した情報発信	—

イ ルートづくり

	H28年度	H29年度	H30年度
周遊旅行商品化に向けた調査研究	モデルコースの作成及びモニターツアーの実施	—	・周遊トラベルノート作成(5,000部)
クルーズセールス	邦船3社に対しヒアリング実施	—	—

ウ エコツーリズムの推進

	H28年度	H29年度	H30年度
エコツアーガイドの交流	・西表島のエコツーリズムの取組等の現地視察	・沖縄島北部のエコツーリズムの取組等の現地視察	・鹿児島県及び沖縄県双方のエコツーリズムの取り組み等の現地視察、座学及び意見交換会

(5) フィルムコミッション活動支援事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

本県における映像製作の支援環境を整え、本県の魅力を情報発信する機会を増やすことにより、本県の更なる観光振興を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

本県における映像制作の支援環境を整えるとともに、様々な製作支援を実施し、本県の魅力を情報発信する機会を増やし、本県の更なる観光振興を図った。

・ 支援実績

	H28年度	H29年度	H30年度
映画	8件	11件	7件
CM	26件	13件	8件
TV番組	15件	33件	15件
TVドラマ	2件	2件	0件
その他	16件	17件	18件
計	67件	76件	48件

※上記表については、製作支援を行った総数であり、実際に本県で撮影等が行われた総数ではない。

(6) 観光サイト魅力アップ事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

明治維新150周年や大河ドラマ放送、奄美・琉球の世界自然遺産登録など、本県の観光の飛躍につなげるため、情報発信の窓口となる観光サイトに魅力あるコンテンツを掲載することで誘客を図る。

<2> 施策の実施状況・成果等

ア システムの更新

- (ア) コンテンツエリア拡大
- (イ) 各種レコメンドの導入
- (ウ) スマートフォン版ページの充実化
- (エ) サイト全体のSSL化
- (オ) サイト更新自動通知機能
- (カ) その他上記に関連する更新等

イ コンテンツ制作

歴史、離島、温泉等に係るコンテンツの拡充

(7) 海外誘客ステップアップ事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

国や九州観光推進機構等と連携しながら、海外セールスや現地でのプロモーション、各種メディアや旅行会社の招請など更なる誘客促進を図る。

<2> 施策の実施状況・成果等

ア 観光「KAGOSHIMA」イメージアップ事業

海外における本県の認知度向上を図るため、市場ごとに「観光ビジネスパートナー」を起用し、各市場に応じた集中的なプロモーションを行い、更なる誘客促進を図った。

(ア) 韓国

- ・旅行博覧会への出展及びセールス（HANATOURL旅行博覧会、MODETOURL旅行博覧会）
- ・現地SNSを活用した情報発信（naverブログによる情報発信、著名インスタグラマーを招請しての情報発信）

(イ) 中国

- ・現地SNSを活用した情報発信（Wechat及びWeiboを活用した観光情報発信）
- ・BtoC向けプロモーション（有名歌手を起用したPR動画の製作、訪日観光誌でのPR）

(ウ) 台湾

- ・現地SNSを活用した情報発信（webサイト及びFacebookによる情報発信）
- ・雑誌による情報発信（現地季刊誌を招請し、幅広く本県の観光素材を発信）

(エ) 香港

- ・現地メディアとの共同プロモーション(航空機内誌へのPR記事掲載, Facebook等のSNSによる情報発信, 訪日旅行雑誌等への掲載による情報発信)
- ・香港在住ブロガーとの共同プロモーション(ブログ, SNS等による情報発信, 現地でのBtoC向けセミナー開催)
- ・現地イベント等への出展(香港ウェディングフェア, EGLトラベルカーニバル)

(オ) タイ

- ・現地SNSを活用した情報発信(Facebook等のSNSによる情報発信)
- ・旅行博覧会への出展(旅行博覧会(TITF)での鹿児島発信)

(カ) シンガポール

- ・物産と連携した観光プロモーション(物産と観光が連携した鹿児島フェアを開催し, 観光セミナー等を実施)
- ・旅行博覧会への出展(旅行博覧会(NATAS, Japan Park)での鹿児島発信)

(キ) ベトナム

- ・旅行博覧会への出展(旅行博覧会(FEEL JAPAN)での鹿児島発信)

(ク) イギリス

- ・Facebook等のSNSによる情報発信
- ・東京と九州地域の連携による外国人旅行者誘致事業への取組(メディア招請による情報発信)

(ケ) その他

- ・JR九州レールパスと鹿児島観光の一体的なプロモーションによる北部九州から鹿児島への誘客促進
- ・観光多言語webサイトを用いた誘客促進強化

イ 直行便4路線誘客対策事業

(ア) 現地セールスの実施

本県への観光客誘致促進を図るため, 海外の旅行エージェント等へのセールス活動等を行った。

	H29年度実績		H30年度実績	
	実施日	場所	実施日	実施場所
韓国	平成29年10月25日～27日 平成29年11月27日～12月1日 平成30年1月9日～10日	ソウル ソウル, 釜山 ソウル	平成30年6月6日～13日 平成30年8月1日～8月3日 平成30年8月29日～9月3日 平成30年11月28日～12月3日	ソウル ソウル ソウル ソウル, 釜山
中国	平成29年4月19日～26日 平成29年10月17日～20日 平成29年11月15日～18日	上海 上海 上海	平成30年5月23日～30日 平成30年9月5日～8日	上海 上海, 南京
香港	平成29年5月30日～6月2日 平成29年8月28日～31日 平成30年1月15日～17日	香港 香港 香港	平成30年7月26日～28日 平成30年11月12日～16日 平成31年1月13日～15日	香港 香港, 深圳 香港
台湾	平成29年5月16日～19日 平成29年6月18日～23日 平成29年7月24日～28日 平成29年8月1日～3日 平成30年1月23日～25日 平成30年3月8日～11日	台北 台北, 台中, 高雄 台北, 台中, 高雄 台北 台北 台北	平成30年6月19日～23日 平成30年12月18日～20日 平成31年3月7日～10日	台北, 台中, 高雄 台北 台北

(イ) 旅行業者等招請事業

韓国, 中国, 台湾, 香港の旅行会社等を招請し, 本県の観光資源や受入体制の視察, 県内観光関係業者等との意見交換を行い, 旅行商品化の促進, 観光客の誘致促進に努めた。



(ウ) 旅行商品企画化支援事業・新商品造成促進事業

韓国，中国，香港，台湾の旅行エージェントに対する旅行商品パンフレット作成やツアー商品広告への助成など，鹿児島旅行商品づくりの促進を図った。

(エ) 航空便利用促進事業

鹿児島空港発着定期便による外国人観光客の誘致促進を図った。

フリージャーナリストによる情報発信（台北BtoCセミナー）

チャイナエアライン台北・鹿児島線2018送客謝恩パーティー

ウ 戦略的市場開拓誘客対策事業

(ア) タイ・シンガポール・ベトナム

現地旅行社等へのセールスによる旅行商品造成促進

国内ランドオペレーターへの招請による現地旅行商品造成促進

(イ) 欧米豪

現地旅行社等へのセールスによる造成促進

現地メディアへの取材協力による情報発信

旅行会社招請による旅行商品の造成促進

(8) 国際クルーズ船誘致促進事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

国際クルーズ船の本県への更なる誘致を図るため，本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向けたプロモーション等を戦略的・一体的に展開する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 国内外セールス活動

本県へのクルーズ船誘致促進のため，国内外でクルーズ船社や旅行社等へのセールス活動等を行った。

実施日	訪問先
平成30年4月12日～13日	東京
平成30年4月26日～27日	東京
平成30年5月22日～25日	台湾
平成30年5月31日～6月1日	東京
平成30年6月18日	東京
平成30年6月21日～23日	東京
平成30年6月29日	東京
平成30年7月13日	東京
平成30年7月31日	福岡
平成30年8月20日～21日	東京
平成30年8月22日～25日	中国
平成31年1月13日～18日	アメリカ
平成31年1月28日～29日	東京
平成31年1月30日	福岡

イ 船社等視察受入

実施日	視察地
平成30年4月22日～26日	屋久島, 奄美大島
平成30年6月9日	鹿児島
平成30年9月7日～8日	鹿児島
平成30年10月17日	鹿児島
平成30年12月20日	鹿児島
平成31年2月16日	鹿児島
平成31年3月3日～6日	与論島, 沖永良部島, 徳之島, 鹿児島

ウ 県内各港クルーズ船入港実績

(単位: 回)

港名	H28年	H29年	H30年
鹿児島	83	108	100
志布志	—	—	—
指宿	1	—	—
西之表	5	3	2
島間	—	—	—
宮之浦	18	24	24
名瀬	6	13	21
古仁屋	2	2	1
湾	1	1	1
平土野	—	2	—
和泊	—	—	—
与論	1	—	2
合計	117	153	151

(9) 外国人観光客受入体制整備事業 (観光課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

国や九州観光推進機構等と連携しながら、鹿児島を訪れた海外の観光客が安心して周遊できるように、観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などの受入体制の整備を図る。

<2> 施策の実施状況・成果等

ア 観光案内の実施

国際観光推進機構の「JNTO認定外国人観光案内所」(外国人のための外国語による観光案内所)とタイアップして、外国人観光客の利便を図るための観光案内、情報提供を行った。

イ 全国通訳案内士試験セミナー開催

外国語で観光案内を行う全国通訳案内士(国家資格)になるための試験概要や資格についての説明を行うとともに、現役の通訳案内士による講演等を実施した。

- ・実施日:平成30年6月9日
- ・参加者:46名

ウ 通訳ガイド有資格者レベルアップ研修セミナー開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図る一環として、全国通訳案内士(国家資格)等のレベルアップに向け、座学講習及び実務研修を実施した。

- ・実施日:平成30年7月28日～平成31年2月23日(座学講習3回,実務研修6回)
- ・参加者:延べ35名

エ 外国人観光客受入体制推進講習会開催

海外からの観光客の増加や多様化に対応するため、外部講師による、外国人観光客の受入体制の向上を目的とした講演や国（市場）別に個別相談対応を行った。

- ・実施日：平成30年8月8日
- ・参加者：135名
- ・外部講師：3名

オ インバウンド実務担当者研修会開催

本県における外国人観光客の受入体制づくり・誘客促進を図るため、県内観光関係実務担当者を対象にした会議・意見交換会を実施。インバウンドに関する基調講演のほか、「インバウンド受入状況や今後の取組について」等について、参加者同士の意見交換を実施した。

- ・実施日：【第1回】平成30年7月25日 【第2回】平成31年2月1日
- ・参加者：【第1回】131名 【第2回】109名

カ ムスリム関係者招請

ムスリム関係者を招請し、受入体制の整備促進及び情報発信を図った。

- ・実施日：平成30年7月24日～26日
- ・参加者：2名

キ 多言語コールセンターの設置及び運営

本県を訪れた外国人観光客が安心して周遊できるよう、多言語コールセンターを設置し、24時間365日対応の電話通訳サービスを提供した。

- ・開設日：平成30年7月27日
- ・対象：宿泊施設、観光案内所、観光施設、交通事業者、飲食店、小売店（大規模小売店舗除く）及び外国人観光客

(10) 九州観光共同推進事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

九州7県及び民間が資金と人員を拠出して設立された（一社）九州観光推進機構において九州一体となった魅力ある観光地づくりと国内・海外観光客等の誘致の促進を行う。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

（一社）九州観光推進機構に対し負担金を拠出した。

（実施主体「（一社）九州観光推進機構」の活動実績）

ア 国内誘致

国内旅行会社、航空会社並びに鉄道会社とタイアップしたキャンペーンや観光プロモーションの強化、国内大都市圏におけるイベントの開催又は出展によるプレゼンテーション活動の強化などの諸事業を実施

- ・観光素材説明会 年2回（東京、名古屋、大阪、福岡）、年1回（広島）
- ・修学旅行説明会・相談会（平成30年8月2日～17日、東京、名古屋、大阪）
- ・ツーリズムEXPOジャパン2018への出展（平成30年9月20日～23日）
- ・春の九州大観光展 in 広島（平成31年2月23日、24日）

イ 国外誘致

主に東アジアからの誘客を促進するため、各国の旅行社・マスコミ等招待事業や現地商談会等による情報発信事業等を実施した。

- ・観光説明会・商談会等（九州観光推進機構・九州運輸局主催のもの）

国名	韓国	中国	台湾	香港	タイ	ベトナム	シンガポール	マレーシア	インドネシア	欧米豪
件数	2件	0件	2件	0件	2件	1件	1件	1件	0件	5件

- ・国際観光展等への出展

国名	韓国	中国	台湾	香港	タイ	ベトナム	シンガポール	マレーシア	インドネシア	欧米豪
件数	1件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件

・招請事業実績

国名	韓国	中国	台湾	香港	タイ	ベトナム	シンガポール	マレーシア	インドネシア	欧米豪
件数	1件	2件	2件	3件	2件	0件	2件	0件	1件	5件

(11) 観光かごしま活性化事業（観光課）

＜1＞ 施策の目的

広く民間の観点から、様々な分野に関連して柔軟で機動的な活動を行い、本県観光全般をコーディネートし、プロデュースする専門家である「観光プロデューサー」を設置し、本県の観光振興及び地域活性化を推進する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

観光プロデューサーの主な業務として、観光振興における知事への助言、観光振興における講演等及びマスコミ対応をはじめ、本県観光産業を重要な基幹的産業へ発展育成するため、鹿児島ならではの地域資源を活用した観光素材の発掘及び商品化、観光関係団体・機関等との連携に係る総合調整、観光を通じた地域振興・地域活性化に取り組んだ。

(12) 修学旅行等対策事業（観光課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

修学旅行等の誘致を図るための受入体制の整備や広報宣伝等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

行政と民間が一体となった県教育旅行受入対策協議会において、多様化する修学旅行の動向を踏まえながら、「望ましい修学旅行地」としての受入体制づくりを行うとともに、積極的な修学旅行誘致事業を実施するため負担金を拠出した。

（実施主体「鹿児島県教育旅行受入対策協議会」の活動実績）

ア 誘致セールス事業

(ア) 修学旅行誘致事業

首都圏	関西圏	中国圏	中部地区	九州地区
6回(2回)	6回(7回)	1回(1回)	1回(1回)	4回(6回)

（誘致セールス回数、（ ）内はH29年度実績）

(イ) 旅行エージェント・教育関係者招待事業

- ・旅行エージェントや学校等の現地視察会への支援（支援件数：2件）

(ウ) 南九州修学旅行誘致受入対策会議

- ・熊本県・宮崎県・鹿児島県の修学旅行誘致共同事業等についての協議（平成30年8月27日）

イ 広報宣伝事業

(ア) 教育旅行関連情報誌への広告掲載

- ・大阪府高等学校校外学習研究会会報
- ・日本教育新聞 教育旅行特集への広告掲載
- ・教育家庭新聞 新年号への広告掲載

(イ) 教育旅行ガイドブック作成（平成30年12月）

ガイドブック名	作成部数
選べる！体感トラベル！かごしま見・聞・録	3,500部

ウ 受入対策事業

(ア) 北部九州地区中学校修学旅行歓迎（筑紫地区中学校連合体）

実施時期	学校数
平成30年9月～11月	24校

(イ) メッセージ事業

内 容	実施時期
平成30年に修学旅行で鹿児島を訪れた県外の学校に、次年度以降の修学旅行の継続のお願いを含むお礼状を送付	平成31年3月

(ウ) 修学旅行担当者スキルアップ研修

観光関係団体等の修学旅行担当者を対象にして教育旅行素材を体験する研修会を実施（平成30年7月20日）

(エ) 修学旅行用貸切バス支援事業

閑散期に鹿児島で修学旅行をした県外の学校へ貸切バス費用の一部を助成（支援件数：1件）

エ 調査事業

鹿児島県修学旅行等入込状況調査

区 分	H28年	H29年	H30年
鹿児島県への修学旅行入込状況	72,015人	75,242人	72,366人

(13) 観光連盟補助事業（観光課）

<1> 施策の目的

本県の観光振興の中核的団体である(公社)鹿児島県観光連盟の機能の充実強化を図る。

<2> 施策の実施状況・成果等

観光客誘致の広報宣伝及び観光情報提供・案内機能の充実並びに観光資源の活用等を促進するとともに、観光関連産業との連携を深め観光の一層の振興に寄与するため、(公社)鹿児島県観光連盟に補助金を交付した。

(実施主体「(公社)鹿児島県観光連盟」の活動実績)

ア 観光広報宣伝推進事業

(ア) 鹿児島県総合観光ガイドブックの作成（13,000部、平成31年1月）

(イ) 鹿児島県観光カレンダーの作成（1,200部、平成30年11月）

(ウ) 海外誘客宣伝用パンフレット等の作成（マップリーフレット76,000部、トラベルマニュアルガイドブック1,000部、平成31年3月）

(エ) 観光ホームページによる情報発信

区 分	H28年度	H29年度	H30年度
1日当たりの平均セッション数	9,761名	8,790名	9,204名
1名当たりの平均滞在時間	2分36秒	2分43秒	2分35秒
1日当たりの平均PV（ページビュー）	36,678PV	31,645PV	28,863PV

(オ) 観光情報センターによる情報提供

イ 観光誘致促進事業

(ア) 姉妹盟約観光交流促進

県観光連盟と姉妹盟約を締結している釜山廣域市観光協会、香港政府観光局及び山口県観光連盟との相互の誘客を促進する事業を実施することにより、釜山、香港、山口県からの観光客誘致を促進する。

・第21回釜山国際観光展出展（平成30年9月6日～11日）

(イ) その他（観光関係団体等との共同宣伝事業）

- ・(一社)九州観光推進機構との連携
- ・日本観光振興協会事業への参画
- ・鹿児島県観光誘致促進協議会事業への参画
- ・鹿児島県四地区観光連絡協議会事業への参画 など

ウ 受入体制整備事業

- (ア) 陳情・要請活動の実施
- (イ) 観光事業功労者等の表彰
- (ウ) 地域観光行催事等の後援・協賛

エ 会議の開催等

- (ア) 総会等の開催
- (イ) 会員ガイドブックの作成
- (ウ) 観光関係者新年互礼会の開催
- (エ) 市町村観光協会等会長会議の開催

(14) 観光動態調査事業（観光課）

＜1＞ 施策の目的

観光統計の基礎資料とするため、県内主要観光施設及び宿泊施設の入込状況調査を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

観光行政の基礎資料として、観光客の入込み状況等を把握するため、県内の主要な宿泊施設、観光施設、ドライブインにおいて、動向調査を実施した。

ア 主要宿泊施設

	H28年度	H29年度	H30年度
調査施設数	83施設	80施設	80施設
宿泊者数(対前年比)	1.3%減少	4.7%増加	4.1%増加

※調査施設数は月ごとに若干の変動がある

イ 主要観光施設・ドライブイン

	H28年度	H29年度	H30年度
調査施設数	26施設	25施設	25施設
入場・来場者数(対前年比)	3.7%減少	3.7%増加	5.9%増加

※調査施設数は月ごとに若干の変動がある

(15) 鹿児島県観光入込客統計（観光課）

＜1＞ 施策の目的

本県における観光に関する現状（入込客数、観光消費額など）を把握するため、全国共通基準に基づいた「鹿児島県観光入込客統計」を実施し、県の観光政策の立案・評価や観光施策の推進に資する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

観光行政の基礎資料として、観光客の入込み状況等を把握するため、四半期毎に県内の主要観光施設20地点にて、観光入込客統計調査に係る観光地点パラメーター調査を実施した。

・ 調査実施日

- 1回目：平成30年5月26日
- 2回目：平成30年8月25日
- 3回目：平成30年11月17日
- 4回目：平成31年2月9日

(16) 国内観光広報宣伝事業（観光課）

＜1＞ 施策の目的

ア 観光案内等業務委託事業

- (ア) かごしま遊楽館における観光案内業務を鹿児島県旅行業協同組合に、愛知鹿児島県人会事務所における観光案内業務を愛知鹿児島県人会にそれぞれ委託し、本県観光に関する観光案内、情報提供及び広報宣伝等を行い、本県観光の振興に資する。

(イ) マスコミや旅行会社をはじめとする本県観光に関する案内，紹介業務を(公社)鹿児島県観光連盟に委託し，県内観光資源の旅行商品化の推進，魅力ある観光地づくりの推進等を行い，本県観光の振興に資する。

イ 観光広報アシスタント

観光課内に観光広報アシスタント(非常勤)を設置し，各種の本県の観光に関する案内，紹介，宣伝等を行う。

<2> 施策の実施状況・成果等

課・事務所名	紹介・案内件数		
	H28年度	H29年度	H30年度
観光課	8,506	11,238	10,386
県観光連盟	8,898	9,317	9,699
かごしま遊楽館	3,619	4,213	4,505
愛知鹿児島県人会	1,157	1,838	220

### (3) かがしまの「食」などの国内外マーケットへの戦略的な展開

#### ①海外展開に対する支援の充実・強化

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
貿 易 振 興 費	123,516	20,341	—	103,175	122,913	20,341	—	102,572
内								
貿易促進事業	48,882	8,328	—	40,554	48,867	8,328	—	40,539
海外ビジネス支援事業	12,764	4,289	—	8,475	12,764	4,289	—	8,475
上海マーケット開発推進事業	55,652	7,724	—	47,928	55,064	7,724	—	47,340
訳								
ASEANマーケット販路開拓事業	6,218	—	—	6,218	6,218	—	—	6,218
計	123,516	20,341	—	103,175	122,913	20,341	—	102,572

#### (1) 貿易促進事業（かがしまPR課）（地方創生関連事業）

##### <1> 施策の目的

香港に駐在員を設置し、現地での情報収集、県産品のPRなどの各種支援を行うほか、九州・山口合同による商談会の実施や各種貿易関係団体の育成等により貿易の促進を図る。

##### <2> 施策の実施状況・成果等

##### ア 商談会等の実施

九州各県並びに北九州市、福岡市及び熊本市で構成する九州貿易振興協議会において、九州・山口圏内の優れた食品を製造・加工・販売する企業の海外での販路開拓を目的に、現地商談会・市場視察等を実施した。

##### (7) 国内事前相談会、セミナー

年 度	実施内容	実施場所	期 間	参加企業数
H28	ベトナム事前商談会	大分、熊本	平成28年8月3日、4日	2社
H29	ベトナム事前相談会	長崎、熊本	平成29年8月3日、4日	4社
H30	アメリカ事前相談会	福岡、宮崎	平成30年10月16日、18日	9社

##### (イ) 海外現地商談会・市場視察

年 度	実施内容	実施場所	期 間	参加企業数
H28	商談会、市場視察	ベトナム(ホーチミン、ハノイ)	平成28年11月7日～9日	18社(うち県内2社)
H29	商談会、市場視察	ベトナム(ホーチミン、ハノイ)	平成29年11月13日～15日	21社(うち県内4社)
H30	商談会	国内(福岡、宮崎)	平成30年11月13日、15日	34社(うち県内8社)

##### イ 香港駐在員設置事業

香港の駐在員が、商談会・見本市等海外事業の推進、貿易情報の収集・提供、県産品の広報宣伝等を行ったほか、各種交流の支援を行った。

年 度	来訪者(人)	調査(件)	会議(回)	訪問先訪問(件)
H28	546	35	44	321
H29	505	44	44	290
H30	410	43	45	294

##### ウ 貿易団体育成事業

日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター及び(公社)鹿児島県貿易協会への負担金支出を行うことにより、両団体の育成強化を図った。



(2) 海外ビジネス支援事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

県内企業の海外ビジネス展開を支援するため、貿易情報の収集・提供や各種海外事業を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

ア インターネット等を活用した貿易情報の収集・提供

- ・メーリングリストによる情報交換（登録者数：178人・団体）
- ・情報誌の発行
- ・ホームページによる情報発信

イ 海外における商談会等の実施

名称等	期間	会場	参加企業数
東南アジアにおける経済ミッション in ジャカルタ	平成30年5月24日～28日	インドネシア（ジャカルタ）	14社・団体
業務用食品展示会 in 香港	平成30年7月25日	香港（ニューワールドミレニアム香港ホテル）	11社

ウ 県産品のPR及び販売促進活動

名称等	期間	場所
香港の高級レストランシェフによる産地視察	平成30年4月24日～27日	北薩・大隅地区
国内大手商社による県内産地視察	平成30年9月5日	鹿児島市内
シンガポールの和食レストランバイヤーによる産地視察及び商談会	平成30年9月26日～29日	鹿児島市近郊・北薩・南薩地区
シンガポールスーパーでの「鹿児島フェア」	平成30年6月28日～約1ヶ月間	SAKURAYA（シンガポール内3店舗）
シンガポールレストランでの「鹿児島フェア」	平成30年12月18日～約3ヶ月間	寿司亭（シンガポール内13店舗）
米国スーパーでの「鹿児島フェア」	平成31年2月7日～13日	ニジヤマーケット（カリフォルニア州の10店舗）
マカオのバイヤー及びシェフによる産地視察	平成31年3月4日～6日	鹿児島市近郊・南薩・大隅地区
香港のバーテンダー等による産地視察	平成31年3月6日～9日	鹿児島市近郊・南薩・北薩地区
台湾スーパーでの「鹿児島フェア」	平成31年3月17日～24日	裕毛屋（台中の3店舗）
国内大手商社との商談会	平成31年3月19日	県内企業12社
香港のレストラン関係者による産地視察	平成31年3月26日～29日	霧島市・垂水市

エ 海外バイヤー等招聘商談会

年度	名称等	期日	場所	参加企業数	国・地域
H28	うんまか鹿児島輸出商談会	平成28年10月26日	鹿児島市	106社	香港, 台湾, 中国, シンガポール等
H29	うんまか鹿児島輸出商談会	平成29年7月28日	鹿児島市	83社	東アジア, 北米, 欧州, 南米等
H30	うんまか鹿児島輸出商談会	平成30年9月6日	鹿児島市	61社	東アジア, 北米, 欧州, 豪州等

オ 専門のアドバイザーによる貿易相談・セミナーの実施

年度	貿易相談件数	貿易セミナーの開催回数（場所）
H28	261	3回（鹿屋市, 指宿市, 枕崎市）
H29	268	3回（薩摩川内市, 出水市, 奄美市）
H30	353	2回（西之表市, 霧島市）

カ 貿易研修事業

名 称 等	期 間	参加者
ベトナム・ホーチミン投資環境セミナー	平成30年6月15日	19人
商談スキルワークショップ	平成30年6月20日, 26日, 29日	13人, 18人, 11人
米国（西海岸・東海岸）の日本食品市場 in 鹿児島	平成30年11月7日	35人
貿易実務講座（初心者向け）	平成30年5月8日	17人
貿易実務講座（中級編）	平成30年11月15日	9人
貿易実務講座（貿易英語Eメール入門講座）	平成30年11月16日	7人

キ 混載貨物輸出業者育成事業

食品輸出の振興及び県内外貿港の利用促進を図るため、県内食品企業の商品をとりまとめ、混載コンテナの仕立てや貿易書類の作成代行などの役割を担う混載貨物輸出業者の育成を行った。

年度	申請数（社）	コンテナ数	交付実績（千円）	仕向け地（国・地域）
H28	6	37	5,530	米国, 香港, 韓国, シンガポール
H29	5	30	3,080	米国, 香港, 台湾, カナダ
H30	7	30	3,000	米国, 香港, 中国, マカオ, 台湾

(3) 上海マーケット開発推進事業（かごしまPR課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

県上海事務所を中心に、中国における本県産品の販路拡大や、本県の認知度向上等を図るため、県産品のPRや販売促進活動、バイヤー等招へいによる商談会や産地視察等を実施する。

<2> 施策の実施状況・成果等

県産品（焼酎、薩摩焼、大島紬、県産食品等）のPRや試食・販売を行った。

ア 県産品のPR及び販売促進活動

名 称	期 間	場 所
City Super「ジャパンフェア」	平成30年6月1日～13日	City Super IFC店（上海市）
上海高島屋「九州・沖縄物産展」	平成30年6月7日～19日	上海高島屋（上海市）
アピタ上海「九州フェア」	平成30年6月7日～18日	アピタ金虹橋店（上海市）
九州世博会（九州グルメ博）	平成30年6月1日～6月30日	上海市内レストラン27店舗
九州世博会（日系居酒屋でのランチバトル）	平成30年6月1日～6月30日	薩摩居酒屋 竿屋（上海市）
ホテルニッコー・広州「日本九州フェア」	平成30年7月16日～31日	ホテル日航広州（広州市）
「JAZZ IN SHOCHU 鹿児島料理」オープンニングイベント	平成30年8月18日	JAZZ IN SHOCHU 鹿児島料理（上海市）
上海なだ万「メディアレセプション」	平成30年10月24日	上海なだ万（上海市）
上海なだ万「鹿児島美食フェア」	平成30年11月15日～12月14日	上海なだ万（上海市）
天皇誕生日祝賀レセプションでのPR	平成30年11月21日	在北京日本大使公邸（北京市）
	平成30年11月28日	花園飯店広州（広州市）
	平成30年11月30日	花園飯店上海（上海市）
「鹿児島県産品を楽しむ夕べ」での特産品のPR・紹介	平成30年12月12日	在上海日本国総領事公邸（上海市）
第11回日本四大都市美食フェア	平成31年3月15日～17日	天津イオン（天津市）

イ 展示・商談会等

名 称	期 間	場 所
江蘇省農業国際合作商談会	平成30年9月14日～16日	連雲港市
国際見本市「第1回中国国際輸入博覧会 ジャパンパビリオン」	平成30年11月5日～10日	上海新国際博覧中心（上海市）

ウ バイヤー等招へいによる商談会及び産地視察

年度	件 数	招へい数	被招へい者
H28	2	6社・団体	流通・小売関係者, ブロガー等
H29	3	6社・団体	レストラン・流通・小売関係者, マスメディア関係者等
H30	2	2社・団体	小売関係者, 流通関係者等

エ 上海事務所の活動状況等

年度	情報提供・市場調査	県内企業等訪問	貿易・取引等相談	事業企画・調整	その他国際交流
H28	180	71	50	499	177
H29	182	70	50	498	178
H30	185	73	49	516	207

(4) ASEANマーケット販路開拓事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

ASEANの経済、金融の中心であるシンガポールを中心として、現地の人材を活用して、以下の業務を推進することにより、ASEANにおける県産品の販路開拓や観光誘客の促進などを図った。

<2> 施策の実施状況・成果等

鹿児島県ASEANディレクターを委嘱し、シンガポールを起点としたASEAN地域においての活動を実施

ア ASEANディレクターの委嘱

(ア) 氏名

シュ・ユエンシャオ・ケナード氏

(イ) 委嘱日

平成28年4月27日

(ウ) 業務遂行場所

シンガポールを起点としたASEAN地域

(エ) 業務内容

- ・現地企業への定期的訪問及び意見交換による情報収集
- ・マーケティング調査
- ・人的ネットワークの構築
- ・現地メディアやイベントへのPR・広報活動の支援
- ・本県からの進出企業への支援
- ・企画・立案の構築及び実施

イ 活動状況等

年度	市場調査等	商談会, イベント等PR	貿易・取引等
H28	2	12	0
H29	5	12	3
H30	5	13	3

(4) 国際化と多文化共生の実現

① 交流会議等を核とした国際交流の充実

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳				
		国庫 支出金	その他の 特定財源	一般 財源		国庫 支出金	その他の 特定財源	一般 財源		
国際交流促進費	227,192	10,659	112,185	104,348	215,472	7,345	112,025	96,102		
内	第21回鹿児島・香港交流会議	5,153	1,523	—	3,630	4,175	864	—	3,311	
	アジア地域との交流	2,056	238	—	1,818	1,064	108	—	956	
	アジアかごしまクラブ形成事業	956	—	—	956	922	—	—	922	
	海外技術協力等推進事業	13,485	—	—	13,485	12,563	—	—	12,563	
	かごしま留学生支援事業	2,450	—	2,000	450	2,313	—	2,000	313	
	アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業	46,225	—	44,000	2,225	46,225	—	44,000	2,225	
	アジア・太平洋農村研修センター改修事業	4,375	—	—	4,375	3,643	—	—	3,643	
	外国青年招致事業	23,364	—	—	23,364	19,672	—	—	19,672	
	海外情報ネットワーク形成事業	84	—	—	84	69	—	—	69	
	渡航事務事業	47,185	—	47,185	—	47,025	—	47,025	—	
	国際交流企画管理事業	19,424	—	19,000	424	19,315	—	19,000	315	
	渉外事務事業	873	—	—	873	766	—	—	766	
	在外県人会等育成事業	1,126	—	—	1,126	1,105	—	—	1,105	
	清華大学との交流促進事業	24,231	8,598	—	15,633	20,476	6,073	—	14,403	
	動画投稿サイトを活用した留学生人材マッチング事業	600	300	—	300	600	300	—	300	
	訳	ブラジル県人会創立105周年記念式典等参加事業	11,038	—	—	11,038	11,018	—	—	11,018
		鹿児島県人世界大会開催事業	20,000	—	—	20,000	20,000	—	—	20,000
英国自治体との交流促進事業		4,567	—	—	4,567	4,521	—	—	4,521	
計		227,192	10,659	112,185	104,348	215,472	7,345	112,025	96,102	

(1) 第21回鹿児島・香港交流会議（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

アジア地域における国際ビジネスの拠点となっている香港との各般にわたる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

芸術・文化、経済、観光などの各分野での交流促進について意見交換を行ったほか、関連事業を実施した。

日 程 平成30年9月5日

場 所 鹿児島

出席者 鹿児島県側 7人、香港側 5人

関連事業等 ・知事主催レセプション

・香港観光セミナー

・香港ビジネスセミナー

・香港フェア

(2) アジア地域との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

国際化の進展に対応するため、アジアに広がる国際交流ネットワークの形成を目指し、韓国全羅北道、中国江蘇省との交流協議会の合意に基づいた取組等を通じて、更なる交流の促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 全羅北道道民安全室研修団の受入れ

道民安全室及び道内自治体(市・郡)職員が、防災対策・災害対応、家畜防疫対策の研修を目的に鹿児島県を訪問した。

日 程 平成30年11月11日～13日

出席者 全羅北道側 11人(道民安全室6人、道内自治体5人)

内容 ブリーフィング(危機管理防災課・原子力安全対策課・畜産課)

視察(川内原子力発電所展示館・県防災研修センター)

イ 第21回鹿児島県・江蘇省交流協議会

鹿児島県と江蘇省との友好交流の関係を強化するため、今後の交流の在り方等について協議を行った。

日 程 平成31年1月17日

場 所 江蘇省南京市

出席者 鹿児島県側 7人、江蘇省側 6人

ウ ベトナム旧正月(テト)フェスタ

本県在住のベトナム人の数が国別で第1位となり、今後も更なる増加が予想されることから、ベトナム旧正月(テト)フェスタを開催し、ベトナムとの交流促進を図った。

日 程 平成31年2月10日

場 所 ジェイドガーデンパレス

参加者 約550人(ベトナム人 約450人、日本人 約100人)

(3) アジアかごしまクラブ形成事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

アジア地域との様々な分野での交流を拡大するため、これまでの交流実績により培ってきた貴重な財産である人的ネットワークの形成を促進する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

アジア地域との人的ネットワークの形成を推進するために設立した香港、シンガポール、韓国全羅北道のアジアかごしまクラブへの活動助成を行った。

〈クラブの状況〉(各年5月1日現在)

(単位：人)

ク ラ ブ 名	会 員 数			
	設立時	H28	H29	H30
香 港 か ご し ま ク ラ ブ	173	400	400	400
かごしまクラブシンガポール	41	124	127	127
全羅北道かごしまクラブ	42	199	204	211

(4) 海外技術協力等推進事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

開発途上国から技術研修員を受け入れ、その国の発展と繁栄に貢献し得る人材を育成するとともに、相互の経済・文化の交流促進に寄与する。

また、南米における本県移住者の子弟を県内の大学に留学させ、本県と移住先国との緊密化に貢献する有為な人材を育成する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

海外からの技術研修員3人を受け入れ、2か月間の日本語・日本文化研修を行った後、各受入機関において4か月間の実技研修を実施した。

また、県出身移住者の子弟3人を県費留学生として受け入れ、県内の大学に留学させた。

＜海外技術研修員＞

出身国	研修内容	受入機関
ブラジル	ブライダル企画	城山観光株式会社
アルゼンチン	薬学	国立大学法人鹿児島大学農学部
中国	幼児教育	国立大学法人鹿児島大学教育学部

＜県費留学生＞

出身国	研究内容	受入機関
ブラジル	地質学	国立大学法人鹿児島大学工学部
ブラジル	児童教育学	国立大学法人鹿児島大学法文学部
ペルー	社会学	国立大学法人鹿児島大学教育学部

(5) かごしま留学生支援事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

私費外国人留学生の勉学・生活の安定化と将来の人的ネットワークの形成に資するため、県内大学等に在籍する留学生に対し、奨学金を交付する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

県内在住の私費外国人留学生10人に、月額20千円の奨学金を交付した。

(6) アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジアを中心とする海外からの研修生の受入や、これらの人々と県民との交流を通じた国際理解の増進、生活・文化学習など多様な機能を有するアジア・太平洋農村研修センターの円滑な管理運営を行う。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

海外の学生を対象とした日本語・日本文化研修や青年海外協力隊派遣予定者に対する研修など、国際交流・国際理解の促進等に資する各種事業を実施した。

＜利用実績＞

年 度	H28	H29	H30
利用者数	11,588人(うち外国人1,755人)	13,226人(うち外国人2,255人)	12,452人(うち外国人2,116人)
研修団体数	191団体	224団体	221団体

(7) アジア・太平洋農村研修センター改修事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジア・太平洋農村研修センターの機能維持のため、改修等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

老朽化していた空調設備及び自動火災報知設備の改修を行った。

(8) 外国青年招致事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

本県における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際交流の促進に資するため、語学指導や国際交流活動を行う外国青年を招致する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

「語学指導等を行う外国青年招致事業(昭和62年度～)」により外国青年1人を国際交流員として受け入れるとともに、県内の外国青年受入市町村との連絡・調整を行った。

(9) 海外情報ネットワーク形成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

本県の海外でのイメージや知名度の向上を図るとともに、海外の観光客の誘致促進、県産品の販路拡大など、観光をはじめとする本県産業の振興に資する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

本県と海外との永年の交流の中で培ってきた人的ネットワーク等を活用し、海外向けに本県の観光・物産等のPR記事を掲載した外国語(英語・中国語・韓国語)及び日本語によるメールマガジンを発行し、情報発信を行った。

メールマガジン登録者数（各年度3月末時点）（単位：人）

年度	英 語	中国語	韓国語	日本語	合 計
H28	636	212	121	484	1,453
H29	665	234	130	550	1,579
H30	525	241	115	518	1,399

(10) 渡航事務事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

旅券法の規定により、国からの法定受託事務である旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を行う。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

ア 旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を処理した。

年度	旅券交付件数
H28	24,360件
H29	26,406件
H30	29,865件

イ 県民サービスの一層の向上を図るため、「鹿児島県事務処理の特例に関する条例」に基づき、旅券の発給申請の受理、交付等の事務を権限移譲している。

＜権限移譲市町村＞

開 始 時 期	移 譲 先 市 町 村	市町村数
平成19年4月1日	与論町	1
平成20年4月1日	出水市,阿久根市,霧島市	3
平成22年4月1日	鹿屋市,西之表市,伊佐市,錦江町,南大隅町,中種子町,南種子町,大和村,徳之島町	9
平成23年4月1日	指宿市,垂水市,南九州市,さつま町,長島町,湧水町,宇検村,伊仙町	8
平成24年4月1日	志布志市,大崎町,肝付町,天城町,和泊町,知名町	6
平成25年4月1日	枕崎市,曾於市,東串良町,瀬戸内町,喜界町	5
平成26年4月1日	日置市,南さつま市,奄美市,屋久島町,龍郷町	5
平成27年4月1日	いちき串木野市	1
平成29年4月1日	始良市	1
	合 計	39

(11) 国際交流企画管理事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

国際交流施策の総合的な企画立案を行うとともに、都道府県、九州各県及び県内市町村との連絡調整や意見交換を行い、国際交流の推進を図る。

また、地方公共団体の共同組織として設立された(一財)自治体国際化協会の運営に要する経費の一部を負担し、地域レベルの国際化推進等を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 国際交流推進連絡

庁内における各種国際交流事業の総合的企画・連絡調整を行うとともに、今後の国際交流を幅広く推進するため、各都道府県・県内国際交流団体との意見交換会等に参加し、相互の連携を深めた。

イ 地域国際化連絡会議

日 程 平成30年6月4日

場 所 福岡市

参加者 九州各県・各指定都市の国際交流主管課長等

イ (一財)自治体国際化協会負担金

外国青年招致事業等を実施する同協会に対して負担金を支払った。

(12) 渉外事務事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

関係国との友好を深め、県民の国際理解・友好親善等を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 外国大使・総領事、使節団等の来鹿に伴う接遇及び通訳、公文書等の翻訳を行った。

年 度	H28	H29	H30
接遇及び通訳	13件	10件	8件
公文書等の翻訳	298件	312件	332件

イ 北方領土返還要求運動に係る広報等の協力や、青年海外協力隊活動の支援を行った。

(13) 在外県人会等育成事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

県海外移住家族会や在外県人会等と協力して本県出身移住者の援助促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

海外移住者の安定化を図るため、(公財)鹿児島県国際交流協会及び鹿児島県海外移住家族会の事業に対し助成を行うとともに、関係機関や在外県人会等との連絡調整を行った。

(14) 清華大学との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

平成25年8月に締結した清華大学との包括協定(MOU)に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る。



〈2〉 施策の実施状況・成果等

青少年学生交流，学術交流，経済交流等を行った。

ア 青少年学生交流

(ア) 清華大学留学支援奨学金交付事業(国際交流課)

清華大学への留学生4人に対し，奨学金を支給(計1,200千円)

(イ) 中国語研修プログラム事業(高校教育課)

県内の高校生及び教職員計13人を中国語等の短期研修に派遣

イ 学術交流

(ア) 文化芸術交流事業(生活・文化課)

県内の文化芸術に携わる制作者や学生等計6人を清華大学に派遣し，芸術分野の交流を実施

(イ) 環境分野交流事業(環境林務課)

清華大学環境学院の教授等を受け入れ，本県専門家・関係機関等との環境分野の交流を実施

ウ 経済交流

(ア) 鹿児島ビジネスニューリーダー育成事業(商工政策課)

清華大学関係者及び企業関係者等9人の受入れにより，ビジネス交流を実施

エ その他

(ア) シンポジウム等開催事業(国際交流課)

MOU締結5周年を記念し，清華大学における短期講座の実施，鹿児島県におけるシンポジウムの実施

(15) 動画投稿サイトを活用した留学生人材マッチング事業(国際交流課) 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

留学生の就職活動を支援する「九州グローバル人材活用促進協議会」に参加し，協議会が構築・運営する「動画投稿ウェブサイト」を活用して，留学生と企業とのマッチングを支援する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

事業実施に係る経費の一部として負担金を支出した。

(16) ブラジル県人会創立105周年記念式典等参加事業(国際交流課)

〈1〉 施策の目的

ブラジル鹿児島県人会創立105周年記念式典等に参加し，関係者の永年の御労苦をねぎらい，友好親善を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ブラジル鹿児島県人会創立105周年記念式典に参加したほか，県費留学生・海外技術研修員OBとの意見交換等を行った。

日 程 平成30年7月20日～23日

場 所 ブラジル連邦共和国サンパウロ市

実 施 内 容 ・ブラジル県人会創立105周年記念式典への参加  
・ブラジル日本移民110周年記念式典への参加  
・県・県人会共催晩餐会の開催  
・県費留学生・海外技術研修員OBとの懇談会

(17) 鹿児島県人世界大会開催事業(国際交流課)

〈1〉 施策の目的

明治維新150周年を記念し，世界で活躍する県出身者等を一堂に会した世界大会を開催することにより，鹿児島と世界とのネットワーク構築等を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

明治維新150周年を契機に、世界で活躍する県出身者等を一堂に会した世界大会を開催し、鹿児島と世界とのネットワーク構築等を図った。

日 程 平成30年10月31日～11月4日

実施内容 ・ 歓迎レセプション  
・ 歓迎フェスティバル  
・ 鹿児島県人交流サミット  
・ 公式式典  
・ 東京ウェルカムイベント（歓迎レセプション）  
・ おはら祭り参加  
・ 地区別交流会

参加者 560人(海外 264人, 国内県人会 81人, 県内参加者 215人)

(18) 英国自治体との交流促進事業（国際交流課）（一部再掲）

〈1〉 施策の目的

明治維新150周年を記念して、薩摩藩英国留学生ゆかりの英国自治体と友好協定を締結し、未来の鹿児島を担うグローバルな人材の育成を図るとともに、鹿児島と英国との更なる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

明治維新150周年を記念して薩摩藩英国留学生ゆかりの英国地方自治体と友好協定を締結し、交流事業や次年度に向けた協議を実施した。

ア 友好協定締結

(ア) ロンドン・カムデン区 平成30年7月18日締結

(イ) マンチェスター市 平成30年7月19日締結

イ 薩摩スチューデント派遣

(ア) 派遣先 英国（ロンドン・カムデン区、マンチェスター市等）

(イ) 派遣日程 平成30年7月28日～8月6日

(ウ) 派遣人員 15名（引率者含め19名）

(エ) 活動内容

- ・ ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）訪問
- ・ 留学生足跡訪問，関係機関表敬訪問
- ・ 英国青少年との交流，ホームステイ 等

ウ 次年度に向けた協議

(ア) 期間 平成31年1月21日～25日

(イ) 協議先 ロンドン・カムデン区，マンチェスター市，ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン，県人会等

② 日本人と外国人が共生する地域づくり

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	18,580	—	10,000	8,580	18,558	—	10,000	8,558
内 国 際 交 流 プ ラ ザ 設 置 事 業	18,580	—	10,000	8,580	18,558	—	10,000	8,558
計	18,580	—	10,000	8,580	18,558	—	10,000	8,558

(1) 国際交流プラザ設置事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

県民と外国人の相互理解を深めるため、国際交流プラザにおいて、県民・外国人・国際交流団体へ交流の場や情報の提供を行うほか、各種相談対応、語学等に関する研修を行う。

<2> 施策の実施状況・成果等

諸外国の生活・文化等の情報提供、外国人の生活相談や県民からの海外渡航等に関する相談への対応、外国人による語学・文化講座等を実施した。

<利用実績>

年 度	H28	H29	H30
国際交流プラザ利用者	14,399人	14,732人	15,821人
相 談 件 数	362件	289件	199件

(5) 「鹿児島県のウェルネス」のブランド化と交流の促進

① 「鹿児島県のウェルネス」を活用した誘客促進

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
観光費	12,694	5,833	—	6,861	12,504	5,738	—	6,766
内 観光振興対策事業（地域観光資源磨き上げ事業）	12,694	5,833	—	6,861	12,504	5,738	—	6,766
計	12,694	5,833	—	6,861	12,504	5,738	—	6,766

(1) 観光振興対策事業（地域観光資源磨き上げ事業）（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「祭り」や「文化」、「食」といった地域資源を、稼げる「観光資源」に磨き上げ、旅行商品化を図るとともに、観光客の満足度向上を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア 旅行商品磨き上げ事業

着地型旅行商品の造成、流通、販売促進を行った。

(ア) 着地型旅行商品の造成

- a 「鹿児島県のウェルネス」に関連するツアーをエリア別に5商品造成。（南薩、大隅、奄美、北薩、喜界島）
- b 新たな着地型素材の磨き上げとして着地型商品を3商品造成。（マグロの餌やり体験等）

(イ) 着地型旅行商品の販売促進

- a 本事業で磨き上げ造成したツアーを掲載したパンフレットの作成や首都圏におけるセールスプロモーションを実施した。
- b 磨き上げたツアーや観光素材について、「鹿児島県の着地型観光サイト」に掲載し、サイトの充実を図った。
- c ウェルネスツアープロモーション動画を制作し、「鹿児島県の着地型観光サイト」に掲載し、サイトの充実を図った。
- d 「鹿児島県の着地型観光サイト」の多言語化を図り、外国人向けツアーの販売を実施した。

イ ボランティアガイド育成支援事業

ボランティアガイドに対して研修会等を行い、育成支援を行った。

(イ) 研修会実施状況

研修会名	実施日	実施地域	参加者数
観光ボランティアガイド研修会	平成30年8月28日	鹿屋市	55名
	平成30年10月25日	鹿児島市	99名

(イ) 県内ボランティアガイド団体に対する支援

県内のボランティアガイド団体の活動に要する費用等の一部について、助成を行った。

ウ ユニバーサルツーリズム普及事業

ユニバーサルツーリズムに対応した旅行商品の造成，流通，販売及び研修会を行った。

(ア) 旅行商品の造成

鹿児島・霧島コースの旅行商品造成を図り，商品として販売。

(イ) 研修会実施状況

研修会名	実施日	実施地域	参加者数
介助者育成のための研修会	平成30年11月29日	霧島市	9名

(ウ) ユニバーサルツーリズムに関する普及・啓発

ツーリズムEXPOジャパンのユニバーサルツーリズムブースに参加し，鹿児島のユニバーサルツーリズムの現状を紹介するためのパンフレット等の配布などを実施した。

エ 観光地づくり・人づくりの支援

地元からの要望に応じて観光アドバイザーを派遣し，観光地域づくりや観光ボランティアガイドの育成等を支援した。

派遣回数	派遣したアドバイザー	派遣先
7回	元県埋蔵文化財センター次長 中村耕治氏 曾於市PR大使 白鳥哲也氏 ほか計3名	鹿児島市・始良市・伊佐市・日置市・曾於市・肝付町

## 10 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

### (1) イノベーションの創出と競争力のある産業の振興

#### ① 地域特性を生かした産業の振興

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳			
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源	
商 業 振 興 費	7,037	3,220	—	3,817	6,741	3,102	—	3,639	
内 訳 特産品等販路開拓支援事業	7,037	3,220	—	3,817	6,741	3,102	—	3,639	
中 小 企 業 振 興 費	117,811	3,308	75,162	39,341	117,080	3,127	75,162	38,791	
内 訳	伝統的工芸品産業振興対策事業	2,580	—	162	2,418	2,518	—	162	2,356
	大島紬振興対策事業	815	—	—	815	815	—	—	815
	伝統的工芸品産業振興資金貸付事業	75,000	—	75,000	—	75,000	—	75,000	—
	鹿児島ブランド支援センター事業	28,542	—	—	28,542	28,542	—	—	28,542
	薩摩焼需要開拓事業	840	—	—	840	840	—	—	840
	「目指せ！日本一」かごしまの本格焼酎魅力発信事業	6,697	1,669	—	5,028	6,370	1,656	—	4,714
	伝統的工芸品等販路拡大支援事業	3,337	1,639	—	1,698	2,995	1,471	—	1,524
計	124,848	6,528	75,162	43,158	123,821	6,229	75,162	42,430	

#### (1) 特産品等販路開拓支援事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

##### <1> 施策の目的

地域の特産物、観光資源等を活用した地域産業おこしを図り、地域小規模事業者の新たな事業機会の創出を図る。

##### <2> 施策の実施状況・成果等

ア 特産品等の販路開拓、普及を支援するため、県商工会連合会が行う事業に対して助成を行った。

	年度	回数・参加者
イベント等の開催・出展	H28	15回 200事業者参加
	H29	13回 239事業者参加
	H30	13回 208事業者参加
専門家の派遣指導	H28	13回 13事業者
	H29	11回 11事業者
	H30	7回 7事業者

イ ふるさと特産運動推進指導員を設置し、地域の資源・技術等を活用した特産品の開発、販路開拓等を推進指導した。

	年度	工 芸 品	食 品
訪問企業数	H28	191箇所	186箇所
	H29	148箇所	231箇所
	H30	143箇所	205箇所

#### (2) 伝統的工芸品産業振興対策事業（かごしまPR課）

##### <1> 施策の目的

伝統的工芸品産業の振興を図るため、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施するイベント等に参加するとともに、伝統的技術を有する業種について、業界に対する指導等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

ア 国指定及び県指定伝統的工芸品の振興を図るために、指定産地組合等が主体となって実施する需要開拓等の取組について指導・助言を行った。

イ 伝統的工芸品の販路拡大を図るため、伝統的工芸品展WAZA2019（東京）への出展等を行った。

年度	実施日	場 所	出 展 品
H28	平成29年 2月16日～ 2月21日	東武百貨店池袋店（東京都）	本場大島紬，薩摩焼，県指定伝統的工芸品 （薩摩つげ櫛，奄美の芭蕉布）
H29	平成30年 2月16日～ 2月21日	東武百貨店池袋店（東京都）	本場大島紬，薩摩焼，県指定伝統的工芸品 （薩摩つげ櫛，奄美の芭蕉布，薩摩深水刃物，大漁旗）
H30	平成31年 2月21日～ 2月26日	東武百貨店池袋店（東京都）	本場大島紬，薩摩焼，県指定伝統的工芸品 （薩摩つげ櫛，薩摩深水刃物）

(3) 大島紬振興対策事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

国の伝統的工芸品に指定されている本場大島紬の振興発展を図るため、産地組合が振興計画に基づいて行う事業に対して助成するとともに、生産者の技術向上対策等の事業を行う。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

産地組合が振興計画に基づいて行う事業に対して助成するとともに、生産者の技術振興対策等の事業を実施した。

ア 需要開拓事業

(ア) 事業主体 鹿児島県本場大島紬協同組合連合会

(イ) 事業内容 一般消費者を対象とした試着体験及び新作大島紬展示等を行った。

年度	実施日	場 所	内 容
H28	平成29年 2月21日～ 2月26日	天文館屋根裏ギャラリー （鹿児島市）	一般消費者を対象とした試着体験及び新作大島紬展示
H29	平成30年 2月 6日～ 2月11日	天文館屋根裏ギャラリー （鹿児島市）	一般消費者を対象とした試着体験及び新作大島紬展示，製造工程の実演・体験
H30	平成31年 2月10日 2月21日～ 2月26日	天文館アーケード 天文館屋根裏ギャラリー （鹿児島市）	大島紬ファッションショー 一般消費者を対象とした試着体験及び新作大島紬展示，製造工程の実演・体験

(4) 伝統的工芸品産業振興資金貸付事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

伝統的工芸品産業（本場大島紬，川辺仏壇，薩摩焼）の経営の安定・合理化を図るため，必要な資金を融資する。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

本場大島紬をはじめとする国指定伝統的工芸品の製造業者及びこれらを構成員とする組合への低利資金融資を行った。

伝統的工芸品産業振興資金

取扱金融機関 商工組合中央金庫鹿児島支店  
 原資(県貸付金) 75,000 千円  
 融 資 枠 225,000 千円  
 限 度 額 個人・法人 25,000千円, 組合 100,000千円  
 貸 付 期 間 1年以内  
 貸 付 利 率 個人・法人 1.975% (転貸手数料0.5%を含む), 組合 1.475%  
 (平成30年4月2日～平成31年3月29日)

貸 付 実 績

区 分	H28年度	H29年度	H30年度
融 資 件 数	30件	26件	25件
融 資 額	182,358千円	172,233千円	187,422千円
年 度 末 残 高	127,448千円	122,333千円	119,049千円

(5) 鹿児島ブランド支援センター事業 (かごしまPR課)

＜1＞ 施策の目的

個性化、多様化していく消費者ニーズに的確に対応した「売れる商品づくり」を支援するとともに、(公社)鹿児島県特産品協会東京駐在員によるかごしま遊楽館でのテスト販売等を通じた情報の受発信に努め、本県特産品の振興を図る。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

ア 鹿児島ブランド支援センター事業

新商品の開発や市場展開など多岐にわたる相談に対し、アドバイザーを紹介・斡旋するなど、「売れる商品づくり」に向けた取組を支援した。

(ア) 事業主体 (公社)鹿児島県特産品協会

(イ) 事業内容

a 県産品支援相談事業

企業・団体等の商品開発、市場展開などの相談に応じ、「売れる商品づくり」を支援した。

	相談件数	内 容
H28年度	213	主に販路開拓, 市場状況等の情報提供
H29年度	221	主に販路開拓, 市場状況等の情報提供
H30年度	222	主に販路開拓, 市場状況等の情報提供

b かごしまの新特産品コンクール事業

県内で新たに開発・製造・改良された商品のコンクールを開催し、入賞商品を県内外で開催される物産観光展等でPRした。

	実 施 日	出 品 数			入賞商品		
			食品	工芸品	食品部門	工芸品部門	
H28年度	平成28年10月7日	153社168品	117品	51品	22品	11品	11品
H29年度	平成29年10月12日	180社209品	133品	76品	22品	11品	11品
H30年度	平成30年10月10日	158社173品	119品	54品	22品	11品	11品

c ブランド化啓発事業

市場動向等をメールマガジン等により情報提供を行った。(メールマガジン配布先: 約378事業所等)



d アドバイザー紹介活用事業

専門的な相談に対し、百貨店バイヤーや流通コンサルタントなど専門家を派遣し、指導・助言を実施した。

	H28年度	H29年度	H30年度
研修会	14回	10回	12回
コンクール等	45回	36回	39回
個別指導	50件	46件	39件

e 県産品市場展開支援事業

(a) 商品力向上調査

加工食品のテスト販売を行い、バイヤーや消費者の商品に関する意見をとりまとめ、製造者に情報提供した。

	H28年度	H29年度	H30年度
食品テスト販売品目数等	29社45品目	114社387品目	51社200品目

(b) 工芸品市場展開支援

かごしま遊楽館の工芸品ギャラリーにおいて、工芸品作家等自らが、消費者から商品についての意見を直接聞き、今後の商品の開発・改善に活かすための展示会を実施した。

	H28年度	H29年度	H30年度
実施回数	17回	20回	18回

(c) 物産観光展での製作実演

首都圏や県内百貨店などで実施された観光物産展において、工芸品作家自らが製作実演を行うなど、消費者に、鹿児島県の伝統的工芸品をより身近に感じてもらうための取組を実施した。

	H28年度	H29年度	H30年度
実施回数	2回	3回	1回

(6) 薩摩焼需要開拓事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

薩摩焼業界に対して、需要開拓の支援を行い、産業の振興を図る。

<2> 施策の実施状況・成果等

ア 事業主体 鹿児島県薩摩焼協同組合

イ 事業内容

(ア) 薩摩焼が彩る西郷どんの食卓デザインによる新商品開発

薩摩焼が彩る西郷どんの食卓をテーマに薩摩焼の皿やどんぶりのデザインを開発するため、鹿児島県飲食業生活衛生同業者組合、工業技術センター、地元百貨店関係者の協力により、デザインを取りまとめ、31の薩摩焼窯元の新商品を試作した。

実施年度	過去の取組内容
H28	23組の窯元と鹿児島県飲食業生活衛生同業者組合等とのコラボで「薩摩焼の弁当の器」の新商品開発
H29	32組の窯元と鹿児島県飲食業生活衛生同業者組合等とのコラボで「焼酎を楽しむ薩摩焼の器展」の新商品開発

(イ) 新商品展示会

新商品の展示会「薩摩焼が彩る西郷どんの食卓展」を開催した。

- ・実施日：平成30年11月28日～12月2日
- ・場 所：かごしま県民交流センター

実施年度	取 組 内 容	実 施 日
H28	コラボ新商品の展示会「薩摩焼の弁当の器展」	平成28年11月30日～12月4日
H29	コラボ新商品の展示会「焼酎を楽しむ薩摩焼の器展」	平成29年11月29日～12月3日

(7) 「目指せ！日本一」かごしまの本格焼酎魅力発信事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

本県産本格焼酎の国内外での認知度を高め、販路拡大を図る。

〈2〉 施策の実施状況・成果等

ア プロジェクトチームの設置

関係団体や酒造メーカー等を構成員とする鹿児島本格焼酎輸出促進等プロジェクトチームを核に、本県産本格焼酎の国内外の販路開拓に向けた連携を強化するため、検討会を実施した。

検討会	実施日	場 所	議 題 等
第1回	平成30年6月30日	鹿児島県庁18階特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ W S E Tの教育内容に「焼酎」を教育内容に盛り込んだスピリッツコース開設の動きに関する最新情報について</li> <li>・ 2018年度活動の骨子（案）等</li> </ul>
第2回	平成30年10月13日	鹿児島県庁18階特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 焼酎セミナーの進め方</li> <li>・ 講師養成コース修了者等の招へいの検討チームの結成等</li> </ul>
第3回	平成30年12月15日	鹿児島県庁18階特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡英：W S E T本部等の訪問・焼酎セミナーの成果報告</li> <li>・ アントニー氏招請スケジュールの検討等</li> </ul>
第4回	平成31年3月18日	ホテルウェルビューかごしま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ W S E Tアントニー氏の招請事業の報告</li> <li>・ 今年度の実績報告</li> <li>・ 次年度の活動計画検討</li> </ul>

イ 鹿児島本格焼酎プロモーションの実施

英国ロンドンに本部を置くワインとスピリッツの教育機関W S E Tの講師を招請し、蔵元見学や本格焼酎セミナーを開催するとともに、東京において焼酎の試飲会を実施し、焼酎の認知度向上・販路拡大に向けたPR活動に取り組んだ。

名 称	実施日	内容
W S E Tの講師の招請	平成31年2月2～4日	酒造メーカー4社の見学。本格焼酎セミナーを実施
焼酎ストリート i n 東京	平成31年3月2～3日	酒造メーカー13社が出展し、消費者を対象とした試飲会を実施

ウ 本格焼酎の銘柄展示

県庁1階のエントランスホールに県内蔵元が製造する焼酎の銘柄（503銘柄、632本）を展示し、「焼酎王国かごしま」をPRした。

(8) 伝統的工芸品等販路拡大支援事業（かごしまPR課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

これまでの関連事業で蓄積されたノウハウやネットワークを生かしながら、伝統的工芸品等の生産者それぞれの自主的な取組を支援するため、国内外の見本市等への出展支援を行い、本県伝統的工芸品等の更なる販路開拓と認知度向上を図る。

＜2＞ 施策の実施状況・成果等

ア 国内外の見本市等への出展助成

本県伝統的工芸品等の更なる販路開拓と認知度向上を図るため、国内で開催される見本市等への出展を支援した。

区分	見本市	展示販売会	計
出展者数	1	19	20

イ 商品開発等に係る専門家による指導

伝統的工芸品等を専門とするディストリビューターを講師に、海外での販路開拓に向けた商品づくりや貿易実務を学ぶ講習会や個別相談会を行った。

区分	実施日	場 所	内 容	参加企業数等
講習会	平成31年3月13日	県庁7階会議室	海外市場で求められる商品、マーケティング・プロモーション手法、価格設定、貿易実務	8社（大島紬、薩摩焼、大漁旗、鶴田和紙、深水刃物、竹製品）
個別相談会	平成31年3月13日	県庁7階会議室	海外展開する商品、中国における販路開拓の成功・失敗事例について	3社（大島紬、大漁旗、鶴田和紙）

# 13 県政情報を分かりやすく提供できる広報活動の実施

## (1) 積極的かつ効果的な県政広報・広聴の展開

### ① 広報広聴活動

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
広 報 費	146,891	—	3,678	143,213	146,459	—	3,695	142,764
内 知事と語ろう車座対話	2,617	—	—	2,617	2,425	—	—	2,425
訳 各種広報媒体を通じた 県政情報等の広報	144,274	—	3,678	140,596	144,034	—	3,695	140,339
計	146,891	—	3,678	143,213	146,459	—	3,695	142,764

#### (1) 知事と語ろう車座対話（広報課）

##### <1> 施策の目的

県政の円滑な推進を図るため、県民の県政に対する意見・要望等を把握し、施策への反映に努める。

##### <2> 施策の実施状況・成果等

##### ア 知事と語ろう車座対話

地域の現状や将来について、知事と各地域の自治会長等や各分野に携わっている方々による意見交換を行った。

実 施 日	開 催 地	出 席 者
平成30年4月1日	屋久島町	23人
平成30年4月28日	東串良町	25人
平成30年4月29日	肝付町	25人
平成30年5月13日	阿久根市	25人
平成30年8月10日	伊仙町	26人
平成30年8月13日	喜界町	24人
平成30年12月22日	南大隅町	23人
平成30年12月23日	錦江町	25人
平成31年3月17日	長島町	24人

各地域の自治会長等や各分野に携わっている方々

#### (2) 各種広報媒体を通じた県政情報等の広報（広報課）

##### <1> 施策の目的

各種広報媒体を活用して県の主要施策や当面する課題等を広報し、県民に周知を図る。

##### <2> 施策の実施状況・成果等

##### ア 広報紙(誌)

(ア) 偶数月発行：県政かわら版 745,000部／各号

(イ) 奇数月発行：グラフかごしま 16,000部／各号

##### イ テレビ・ラジオ

(ア) テレビ番組：民放4社 原則週1回／各社

(イ) ラジオ番組：民放2社 毎週月～金曜日、毎週木曜日

(ウ) データ放送(地上デジタル放送)

・NHK及び民放1社 県の行事・イベント、各種制度の文字情報

ウ インターネット

(ア) 県ホームページ

- ・トップページアクセス件数：2,257,908件
- ・動画サイト「ムーブ!かごしま」アクセス件数：342,979回

(イ) SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

- ・県公式Twitter 県政情報や災害情報など [フォロワー数：16,361件(平成31年3月31日現在)]
- ・県公式Facebook 県政情報や観光情報など [いいね!数：8,981件(平成31年3月31日現在)]
- ・知事公式Facebook 知事の公式行事参加など [いいね!数：1,695件(平成31年3月31日現在)]